



鹿児島大学学章

創立50周年を記念して制定された。
KAGOSHIMAの頭文字『K』をデザインしたものである。
今、まさに飛び立とうとしている姿を『鳳』の形にデザインし、歴史と伝統に輝く鹿児島大学のキャンパスを巣立つ卒業生が世界の舞台を翔ようとしている姿をシンボル化したものである。



KAGOSHIMA UNIVERSITY

国立大学法人 平成16年度 鹿児島大学概要

OUTLINE OF KAGOSHIMA UNIVERSITY 2004



永田 行博 学長

鹿児島大学は平成16年4月1日国立大学法人鹿児島大学として新たな出発をしました。

鹿児島大学は創立以来すでに50余年の歴史を有しており、8学部9研究科から成り、約1万人の学部学生と約2千人の大学院学生を数える日本有数の総合大学であります。

鹿児島は日本列島の南の玄関に位置し、古くから海外の文化の移入や外交と関わり、海外との交流の盛んな地でありました。したがって、そこに位置する鹿児島大学は大学が持っている地域貢献という使命とともに、地理的にも、歴史的にも大きな使命を持っており、わが国の国立大学の中でも大きな責任の一端を負っている大学といえます。

鹿児島大学は昭和24年5月31日国立学校設置法により、第七高等学校、鹿児島師範学校、鹿児島青年師範学校、鹿児島農林専門学校および鹿児島水産専門学校を母体として、文理・教育・農・水産の4学部をもつ新制大学として設置されました。その後昭和30年7月医学部および工学部が鹿児島県立大学からの国立移管によって増設されました。さらに昭和52年歯学部が新設され、平成10年医学部保健学科の増設により、現在の骨格が整いました。

大学院は昭和34年4月大学院医学研究科の設置から理工学研究科を経て、平成15年人文社会研究科(博士)、保健学研究科(修士)が設置され、同時に医学部・歯学部研究科の重点化統合による医歯学総合研究科へと発展してまいりました。さらに本年4月には専門職大学院司法政策研究科が新設されました。

大学の使命は、人類の知的遺産の継承、知的創造、人間性豊かで幅広い教養を備えた人材育成などであります。さらにその地域や世界の学術、教育、研究、文化の拠点としての役割を果たす点にあります。わが鹿児島大学は高等教育、学術研究を通じて大きな実績を残し、その使命を果たしてきましたが、現在は教育、研究のみならず、社会活動などに大きな成果をあげており、南九州地域の学術、文化の中心地として、その貢献は著しいものがあります。

鹿児島大学は、そのユニークな教育研究でも定評があります。その中には、地域と密着した地震・火山、有機農法、ナノテクノロジー、病因解明、離島などをテーマとしたものが含まれます。国際島嶼医療学や医用ミニプタの開発、屋久島ゼロエミッションを発展させた水素社会の未来図などは日本唯一であります。大学あげでの取り組みとしては、内之浦と種子島の2つのロケット基地を抱える県として宇宙総合科学にも取り組んでおり、南方への門戸としての多島圏研究センターも全学のバックアップで活動を続けています。バイオや水産の技術も世界に広く知られています。また、国際化にも全力を投入しており、その地理的条件と相まって300名を超す留学生を迎えており、国際学術交流協定大学も49大学となり、学生交流や国際的研究が盛んで、異文化を認めあう国際性を身につけるチャンスも増えています。

今、鹿児島大学は長い歴史と伝統を踏まえつつ、国立大学法人化を機に、21世紀の新しい総合大学の使命をさらに展開・発展させようとしています。

CONTENTS

1. 基本理念	鹿児島大学の基本理念	2
2. 沿革・組織	沿革概要図	4
	組織図	6
	役職員	8
3. 学部・大学院等	法文学部 / 人文社会科学研究科	12
	教育学部 / 教育学研究科	13
	理学部 / 理工学研究科	14
	医学部 / 保健学研究科	15
	歯学部	16
	医学部・歯学部附属病院	17
	工学部 / 理工学研究科	18
	農学部 / 農学研究科	19
	水産学部 / 水産学研究科	20
	大学院医歯総合研究科	21
	大学院司法政策研究科	22
	大学院連合農学研究科	23
	山口大学大学院連合獣医学研究科	23
4. 施設	学内共同教育研究施設等	24
	全学共同利用施設等、体育施設	29
	厚生施設等	30
5. 資料編	職員の現員	32
	学生の定員・現員	33
	入学状況	36
	卒業(修了)生数及び就職状況	38
	学位授与状況、奨学生	39
	外国人留学生	40
	国際学術交流協定大学	42
	外国人研究者の受入状況、研究者等の受入状況、これまでの全学合同研究プロジェクト	43
	学術刊行物	44
	公開講座	45
	歳入歳出決算、各種学術研究費	46
	医学部・歯学部附属病院患者数	48
	土地・建物・船舶	49
	地区別建物等配置図	50
	鹿児島大学位置図・鹿児島市内交通アクセス	54
	所在地一覧	55
	鹿児島大学キャンパス・学年暦	56

基本理念

沿革・組織

学部・大学院等

施設

資料編



(鹿児島大学の使命)

鹿児島大学は、その拠点が、日本列島の南の玄関に当たり、古くから海外との交流や文化の移入の先進地であり、近代への先導者の輩出地であったこと、海洋と島嶼に恵まれ後世に遺すべき優れた自然環境と伝統、文化の地であることに鑑み、また、地球規模で新たな豊さを享受する時代が拓かれつつあるとの深い認識のもと、学問の自由と多様性を堅持し、自主自律の精神を涵養しつつ、「真善美を深く究めこれを具現し世界を先導する総合学術共同体」への持続的な展開をはかる。

すなわち、鹿児島大学は、真理を愛し、高い倫理観と芸術性を備え、怯懦を排して自ら困難に挑戦する人格を育成し、学術と学芸のあらゆる分野で新たな時代にふさわしい体系と枠組みを創出することによって、また、国際的視点を堅持しつつ地域社会に密着しその発展に貢献することを通じて、学術文化向上への寄与はもとより、基本的人権ならびに自由と自主の尊重、人類の福祉と連帯、国際理解と寛容、世界平和および地球環境の保全に留意した維持可能でかつ公正な社会の発展に寄与する。

(教育)

鹿児島大学は、開かれた大学として、学ぶ意欲と関心を自ら引き出す力のあるすべての人々を受け入れ、在学前後の教育機関やキャリア形成の種々の場との緊密な連携をはかりつつ、学生の潜在能力と適性の発見ならびにそれらの開花を促し、入学時の諸能力を顕著に発展させて大学の使命の実現に努めるとともに、これらを一層推進するための優れた教育の体系と方法を絶えず開発し展開することに努める。

(研究)

鹿児島大学は、知者不言を美德とする場を超え出て、個々の卓越性の明確な自認と発信を促進して、学生をもとめた個性的独創的研究を展開するとともに、先端化しつつも細分化される個々の分野の統合を念頭に置きながら、世界と地域が求める新たな学術の体系と枠組みの創出に果敢に挑みそれらを高度に達成することによって、世界を先導する総合学術共同体の実を挙げる。

(地域社会、国際社会との関係)

鹿児島大学は、その使命にかなう限り、地域ならびに国際社会のあらゆる領域の多様な要請に対応することを抱負とし、また、学術と学芸のすべての分野で得られた成果を積極的に普及、活用するために、情報の迅速な公開と発信に努め、施設の開放はじめ種々の公開事業、交流事業を通じて地域の振興と活性化に貢献するとともに、国際社会の連帯と協力に資する知的交流網の核となることによって学術の国際的進展を牽引し、同時に、これらの活動から広く啓発されることを喜びとする。

(組織運営)

鹿児島大学は、学生教職員の共同のもと、学部、研究科等教育研究上大きな役割を果たす基礎組織が大学全体の運営に等しく参画する機会をもつことはもとより、地域住民の参加と支援および学長による適切な指導的役割を重視し、弾力的で機動性に富む民主的組織運営を行う。

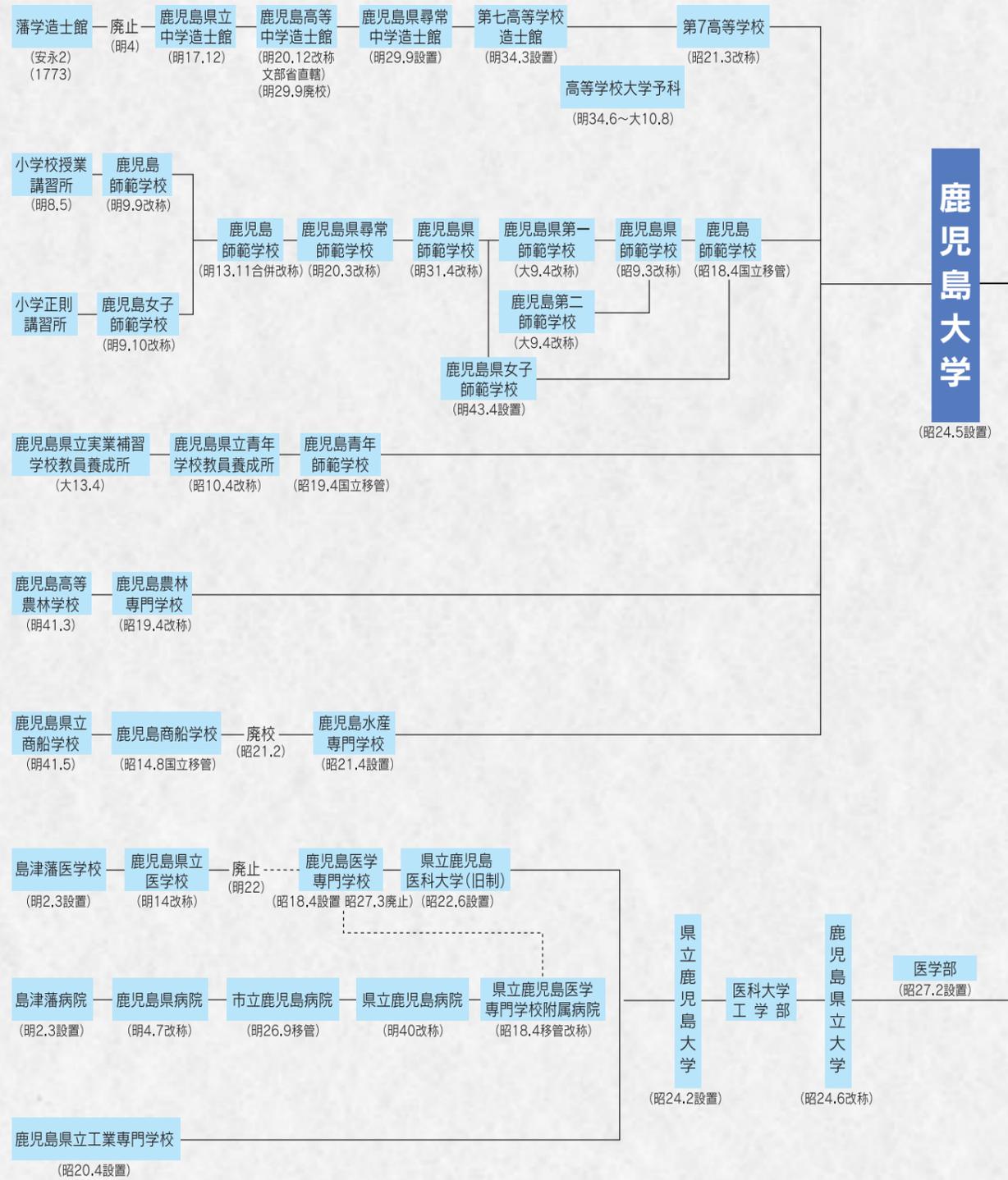
鹿児島大学は、その活動の点検評価に最適の体制を自発的に創出して機能させ、積極的に社会に対する説明責任を果たしつつ、学術の高度化、専門化の動向ならびに「男女共同参画」、「バリアフリー」等社会や地域の多様な要請に応えて、また大学の財務面、施設面にも配慮して、組織運営の不断の自律的改善に努め、安全で快適な総合学術共同体の一層の充実をはかる。



沿革概要図

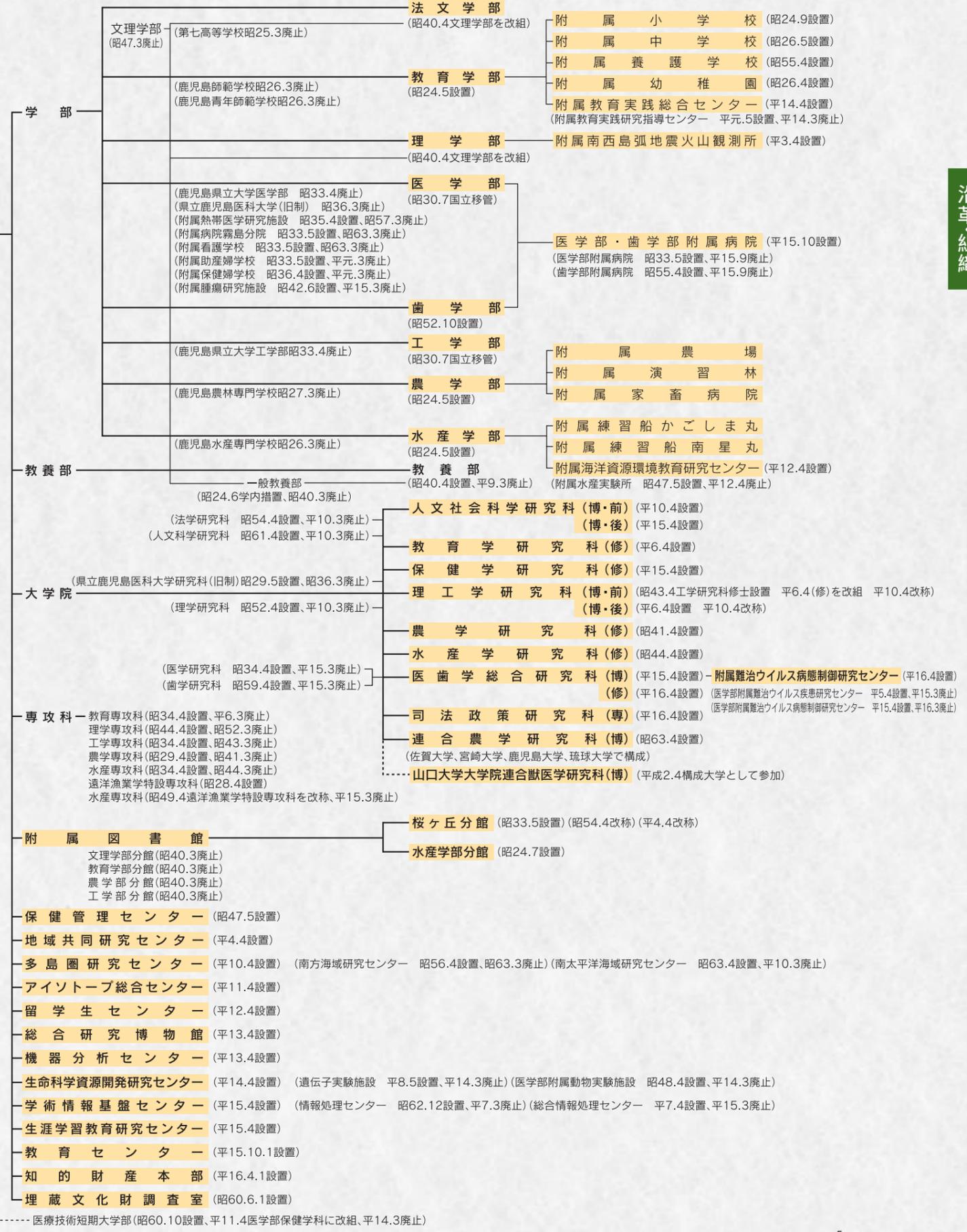
2 沿革・組織

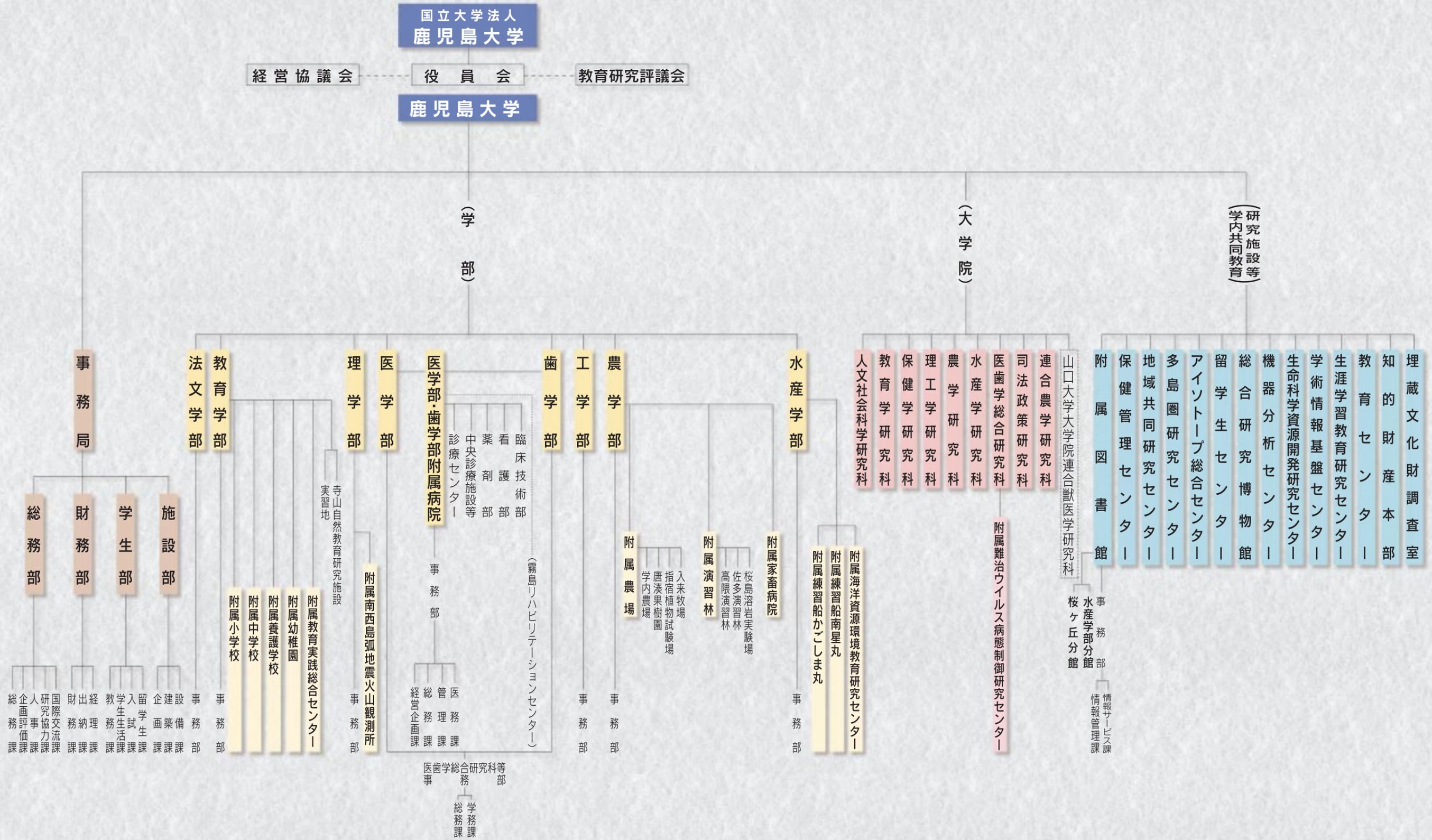
沿革・組織



鹿児島大学

(昭24.5設置)





役員

学 長	永田 行博
理事 企画・評価担当(兼副学長)	矢野 利明
理事 教育・学生担当(兼副学長)	種村 完司
理事 研究・社会連携担当(兼副学長)	竹田 靖史
理事 財務・環境・医療担当(兼副学長)	鉾之原 昌
理事 総務担当(兼事務局長)	谷口 政敏
理事 法務担当	山下 勝彦
監事 業務監査	大園 純也
監事 会計監査	川崎 孝雄

学長補佐

企画・評価担当	馬嶋 秀行
企画・評価・財務・環境・医療担当	熊本 一朗
教育・学生担当	阿部 美紀子
研究・社会連携担当	越塩 俊介
財務・環境・医療担当	友清 貴和
総務担当	橋本 直樹

経営協議会学外有識者

名古屋学芸大学長	井形 昭弘
京セラ株式会社取締役名誉会長	稲盛 和夫
鹿児島商工会議所会頭	大西 洋逸
福岡市健康づくり財団理事長	坂本 雅子
鹿児島テレビ放送株式会社代表取締役社長	山元 強
鹿児島県医師会会長	米盛 學
鹿児島県副知事	脇田 稔

事務局

事務局 局長	谷口 政敏
総務部 部長	川崎 幸一
総務課 課長	満尾 俊一
企画評価課 課長	徳重 潔
人事課 課長	吉永 祥二
研究協力課 課長	瀬戸山 泰彦
国際交流課 課長	佐久間 敬喜
財務部 部長	通山 正年
財務課 課長	吉松 純昭
出納課 課長	笹原 茂
経理課 課長	住吉 重之
学生部 部長	金子 良一
教務課 課長	飯干 秀徳
学生生活課 課長	平井 治次郎
入試課 課長	那須 純次
留学生課 課長	東 繁
施設部 部長	佐藤 政弘
企画課 課長	蔵田 秀夫
建築課 課長	梅宮 兵衛
設備課 課長	上田 孝

学内共同教育研究施設等

附属図書館	総合研究博物館長	大塚 裕之
図書館 長	機器分析センター長	宮崎 智行
桜ヶ丘分館 長	生命科学資源開発研究センター長	高尾 尊身
水産学部分館 長	学術情報基盤センター長	村島 定行
事務部 部長	副センター長	升屋 正人
情報管理課 課長	生涯学習教育研究センター長	神田 嘉延
情報サービス課 課長	教育センター長	谷口 溪山
保健管理センター所長	知的財産本部長	竹田 靖史
地域共同研究センター長	埋蔵文化財調査室長	新田 栄治
副センター長		
多島圏研究センター長		
アイソトープ総合センター長		
留学生センター長		

歴代学長

氏名	任期	備考
緒方 健三郎	昭和24年5月31日～昭和31年7月31日	学長事務取扱
福田 得志	昭和31年8月1日～昭和35年7月31日	
"	昭和35年8月1日～昭和39年7月31日	
"	昭和39年8月1日～昭和43年7月31日	
町野 碩夫	昭和43年8月1日～昭和44年10月20日	
中村 末男	昭和44年10月21日～昭和46年1月11日	
"	昭和46年1月12日～昭和50年1月11日	
蟹江 松雄	昭和50年1月12日～昭和54年1月11日	
"	昭和54年1月12日～昭和56年1月11日	
石神 兼文	昭和56年1月12日～昭和60年1月11日	
"	昭和60年1月12日～昭和62年1月11日	
井形 昭弘	昭和62年1月12日～平成3年1月11日	
"	平成3年1月12日～平成5年1月11日	
早坂 祥三	平成5年1月12日～平成9年1月11日	
田中 弘允	平成9年1月12日～平成13年1月11日	
"	平成13年1月12日～平成15年1月11日	
永田 行博	平成15年1月12日～	



法文学部

学 部 長 山 田 誠
副 学 部 長 飯 田 泰 雄
副 学 部 長 木 部 暢 子
事 務 長 田 多 園 文 雄

教育学部

学 部 長 中 山 右 尚
副 学 部 長 坂 東 義 雄
副 学 部 長 八 田 明 夫
事 務 長 川 内 輝

附属教育実践総合センター長 松 田 君 彦

附属小学校長 西 種 子 田 弘 芳

附属中学校長 園 屋 高 志

附属養護学校長 松 永 郁 男

附属幼稚園長 西 種 子 田 弘 芳

理学部

学 部 長 石 田 尚 治
副 学 部 長 面 高 俊 宏
副 学 部 長 中 谷 宗 弘
附属南西島弧地震火山観測所長 角 田 寿 喜
事 務 長 榎 園 靖 郎

医学部

学 部 長 吉 田 浩 己
副 学 部 長 森 本 典 夫
副 学 部 長 小 田 紘
副 学 部 長 神 崎 保
副 学 部 長 安 楽 満 男

歯学部

学 部 長 西 川 殷 維
副 学 部 長 三 村 保
副 学 部 長 植 村 正 憲
副 学 部 長 長 岡 英 一

医歯学総合研究科等事務部

事 務 部 長 月 貫 和 夫
総 務 課 長 陶 山 政 美
学 務 課 長 石 橋 孝

医学部・歯学部附属病院

病 院 長 田 中 信 行
副 病 院 長 (医 科 担 当) 鄭 忠 和
副 病 院 長 (歯 科 担 当) 三 村 保
薬 剤 部 長 山 田 勝 士
看 護 部 長 亀 割 成 子
臨 床 技 術 部 長 富 吉 司
事 務 部 長 兼 山 精 次
事 務 部 次 長 高 崎 義 冲
経 営 企 画 課 長 内 山 芳 樹
総 務 課 長 溝 口 陸 奥 夫
管 理 課 長 羽 生 守 彦
医 務 課 長 九 法 成 男

工学部

学 部 長 長 澤 庸 二
副 学 部 長 皆 川 洋 一
副 学 部 長 松 本 利 達
副 学 部 長 北 村 良 介
副 学 部 長 皮 籠 石 紀 雄
事 務 長 石 塚 勝 雄

農学部

学 部 長 下 川 悦 郎
副 学 部 長 青 木 孝 良
副 学 部 長 衛 藤 威 臣
附 属 農 場 長 大 西 緝
附 属 演 習 林 長 馬 田 英 隆
附 属 家 畜 病 院 長 坂 本 紘
事 務 長 住 田 義 久

水産学部

学 部 長 松 岡 達 郎
副 学 部 長 田 中 淑 人
副 学 部 長 小 山 次 朗
附 属 練 習 船 か ご し ま 丸 船 長 益 満 侃
附 属 練 習 船 南 星 丸 船 長 東 政 能
附 属 海 洋 資 源 環 境 教 育 研 究 セ ン タ ー 長 野 呂 忠 秀
事 務 長 松 尾 博 之

大学院

人文社会科学研究科長 山 田 誠
教育学研究科長 中 山 右 尚
保健学研究科長 森 本 典 夫
理工学研究科長 長 澤 庸 二
農学研究科長 下 川 悦 郎
水産学研究科長 松 岡 達 郎

大学院医歯学総合研究科

研 究 科 長 吉 田 浩 己
副 研 究 科 長 西 川 殷 維
副 研 究 科 長 松 山 隆 美
副 研 究 科 長 杉 原 一 正
副 研 究 科 長 小 澤 政 之
附 属 難 治 ウ イ ル ス 病 態 制 御 研 究 セ ン タ ー 長 出 雲 周 二

大学院司法政策研究科

研 究 科 長 緒 方 直 人

大学院連合農学研究科

研 究 科 長 荒 井 啓

法文学部

人文社会科学研究科

法文学部は、第七高等学校を母体として設置された「文理学部」を改組し、昭和40年4月から法学科、経済学科及び文学科の3学科をもって発足した。昭和54年4月の改組により文学科は人文学科に、平成9年4月の改組により、法学科は法政策学科に、経済学科は経済情報学科になった。また、昭和54年4月、法学研究科(修士課程)法学専攻が設置され、昭和61年4月には人文科学研究科(修士課程)が設置された。なお、平成10年4月には、法学研究科と人文科学研究科を発展的に解消し、人文社会科学研究科(博士前期課程)を設置し、法学、経済社会システム、人間環境文化論、国際総合文化論を設けた。更に平成15年4月から、博士後期課程の地域政策科学専攻を設置し、博士課程の学生を受け入れている。

法文学部

学 科	講 座
法政策学科	政策科学、市民法、法交渉
経済情報学科	経済システム、経営情報、地域計画、国際協力
人文学科	人間科学、地域環境、日本・アジア総合文化、ヨーロッパ・アメリカ総合文化

人文社会科学研究科

区 分	専 攻
博士前期課程	法学、経済社会システム、人間環境文化論、国際総合文化論、臨床心理学
博士後期課程	地域政策科学



サテライト教室における授業風景

教育学部

教育学研究科

教育学部は、明治の小学校授業講習所・師範学校以来、鹿児島県をはじめとする教育界や各界に幾多の有益な人材を輩出してきました。学部は小・中・高等学校の教師を養成する学校教育教員養成課程、養護学校の教師を養成する養護学校教員養成課程と社会教育分野などの指導者養成を専門とする生涯教育総合課程の三課程で構成されています。

大学院教育学研究科は、学部卒業生等や小・中・高・養護学校の現職の先生を対象に、広い視野にたった精深な学術を修め、教育の諸分野に関する高度の専門的学識を養い、現代の複雑な教育の諸問題に的確に対応できる人材を育成することを目的とし、就学の特例制度、大学院修学休業制度、夜間履修などにより現職の先生にも学びやすい条件が整えられています。

教育学部

課 程 等	講 座 等
学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術教育、家政教育、英語教育、教育学、心理学
養 護 学 校 教 員 養 成 課 程	障害児教育
生 涯 教 育 総 合 課 程	地域社会教育、国際理解教育、健康教育

附属教育研究施設 小学校、中学校、養護学校、幼稚園、教育実践総合センター、寺山自然教育研究施設

教育学研究科

区 分	専 攻
修 士 課 程	学校教育、教科教育



絵画の授業風景

理学部

理工学研究科

理学部は第七高等学校に源を發し、自然科学の基礎分野を教育研究の対象とする南九州唯一の学部であり、大学院(理工学研究科<博士前期課程・後期課程>)も設置されています。国立天文台等の研究機関と連携した教育研究や、南九州という地理的特性を生かした多様な自然環境に関連した研究等が推し進められており、地域社会とも密接な関係を持ちながらその発展に貢献しています。理学部は、専門分野での深い知識と、広く科学的に考える能力とを併せ持った人材を育成することをその教育目標としています。

理学部

学科等	講座等
数理情報科学科	数理構造、現象数理、情報数理
物理科学科	物性理論、固体物理、宇宙情報
生命化学科	分子機能化学、有機生化学、生命機能
地球環境科学科	地質科学、島弧火山、環境解析、多様性生物学
附属教育研究施設	南西島弧地震火山観測所

理工学研究科

区分	専攻
博士前期課程	工学系 機械工学、電気電子工学、建築学、応用化学工学、海洋土木工学、情報工学、生体工学、ナノ構造先端材料工学
	理学系 数理情報科学、物理科学、生命化学、地球環境科学
博士後期課程	工学系 物質生産工学、システム情報工学、ナノ構造先端材料工学
	理学系 生命物質システム



理学部1号館



野外実習風景

医学部

保健学研究科

医学部は、明治2年にウィリアム・ウィルスを校長として設立された西洋医学校を前身とし、医学科の母体となる県立鹿児島医学専門学校は、昭和18年に開校されました。その後幾多の変遷をたどり、平成10年には保健学科が設置され、現在では医学科と保健学科の2学科で構成されています。この間、多くの人材を輩出し、日本各地で医学医療の進歩と国民の健康と福祉のため多大な貢献をしています。本学部では、人間性豊かな、地域に貢献する、研究心旺盛な、国際的視野に立つ医学・医療を担う人を育成することを目指しています。

医学部

学科等	学科目等
医学科	医学概説学、疾病病因学、疾病病態学、医学実践学、臨床実践学
保健学科	看護学専攻 総合基礎看護学、臨床看護学、母性・小児看護学、地域看護・看護情報学
	理学療法学専攻 基礎理学療法学、臨床理学療法学
	作業療法学専攻 基礎作業療法学、臨床作業療法学

附属教育研究施設 医学部・歯学部附属病院

保健学研究科

区分	領域・分野
修士課程	看護学領域：基礎看護・地域看護学分野、臨床看護学分野
	理学療法・作業療法学領域：理学療法学分野、作業療法学分野



医学系研究棟



学生実習

歯学部

歯学部は、沖縄を含む南九州全域における歯科医学の教育、研究の中核的役割を果たすべく、昭和52年10月に設置されました。本学部では、う蝕、歯周疾患、咬合異常、歯の欠損、口腔領域の外傷・形成不全・疼痛・腫瘍などの原因を究明し、これら症状の予防法と治療法を確立していくとともに、歯科医学を通して地域的にも国際的にも十分に貢献しうる人材を育成することを目標としています。共通・教養教育や基礎医学・隣接臨床医学教育にも力を注ぐとともに、良識ある人間形成に繋がる教育を心掛け、全人的歯科医療人の育成を目指しています。

歯学部

学科等	学科目等
歯学科	歯科常態学、歯科病態学、発達育成歯科学、口腔顎顔面歯科学

附属教育研究施設 医学部・歯学部附属病院



歯学系研究棟



授業風景

医学部・歯学部附属病院

医学部・歯学部附属病院は、医学部と歯学部の両病院を統合し、診療科を疾患機能別の17にセンター化することなど組織の見直しを図り、これまで以上に、患者さん本位の医療の推進と高度医療の開発提供、効率的・機能的な病院運営を実現し、更なる地域医療における役割を充実させることを目指し、平成15年10月1日から「鹿児島大学病院」として新たにスタートしました。

診療センター	部門科	中央診療施設等
循環器センター	心臓血管内科 心臓血管外科	検査部 手術部
消化器センター	消化器内科 消化器外科	放射線部 医療器材管理部
脳・神経センター	神経内科 脳神経外科	救急部 集中治療部
呼吸器・ストレスケアセンター	呼吸器内科 呼吸器外科 心身医療科	輸血部 医療情報部 周産母子部
腎臓・泌尿器センター	腎臓内科 泌尿器科	特殊歯科総合治療部 血液浄化療法部
血液・内分泌・糖尿病センター	血液・膠原病内科 糖尿病・内分泌内科 乳腺・内分泌外科	病理部 光学医療診療部 歯科技工室
メンタルケアセンター	神経科精神科	病歴管理室
小児診療センター	小児科 小児外科	リハビリテーション室 中央採液室
女性診療センター	産科、婦人科	臨床心理室
整形・運動機能センター	整形外科・リウマチ外科	歯科総合診療部 治験管理部
感覚器センター	皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	遺伝カウンセリング室 卒後臨床研修部 クオリティ・マネージメント部
放射線診療センター	放射線科 顎顔面放射線科	離島・地域医療連携部 医療相談室
麻酔全身管理センター	麻酔科 歯科麻酔科	摂食栄養相談室
リハビリテーションセンター	リハビリテーション科	
発達系歯科センター	口腔保健科 矯正歯科 小児歯科	薬 剤 部 看 護 部
成人系歯科センター	保存科 歯周病科 冠・ブリッジ科 義歯補綴科	臨 床 技 術 部 事 務 部
口腔顎顔面センター	口腔外科 口腔顎顔面外科	



医科診療棟



歯科診療棟



霧島リハビリテーションセンター

工学部

理工学研究科

昭和24年4月鹿児島県立大学の発足に伴い、鹿児島県立工業専門学校を母胎として工学部が設置され、同30年県立から国立移管され鹿児島大学工学部となりました。

工学部は、工学を支える基礎研究の中核及び国際的視野をもった技術者の養成機関として、広い視野と解決能力のある柔軟な頭脳をもつ研究者・技術者の養成を目指しています。また、これまで以上に国際的に通用する技術者の育成を目指して、教育課程の見直し等を行い、JABEE(日本技術者教育認定機構)への認定に向けての取り組みも行っています。

工学部

学 科	講 座
機 械 工 学 科	設計生産システム工学、エネルギーシステム工学
電 気 電 子 工 学 科	電子物性デバイス工学、電気エネルギー工学、通信システム工学
建 築 学 科	建築構造構成学、居住環境構成学
応 用 化 学 工 学 科	分子工学、機能材料工学、化学システム工学
海 洋 土 木 工 学 科	環境システム工学、建設システム工学
情 報 工 学 科	知能情報工学、情報システム工学
生 体 工 学 科	生体機能材料、生体電子工学
	京セラ経営学(寄附講座)

理工学研究科

区 分	専 攻
博士前期課程	工学系 機械工学、電気電子工学、建築学、応用化学工学、海洋土木工学、情報工学、生体工学、ナノ構造先端材料工学
	理学系 数理情報科学、物理科学、生命化学、地球環境科学
博士後期課程	工学系 物質生産工学、システム情報工学、ナノ構造先端材料工学
	理学系 生命物質システム



理工系総合研究棟



プログラミング演習風景

農学部

農学研究科

農学部は、明治41年開設の国立鹿児島高等農林学校に始まり、昭和19年4月鹿児島農林専門学校と改称、昭和24年鹿児島大学農学部となった。現在は、学部の上に修士課程(農学研究科)及び博士課程(連合農学研究科、連合獣医学研究科)が設置されている。自然環境に調和した食料生産技術の開発、生物機能の解明と応用、自然生態系の保全と修復、動物の医療技術および多面的機能の開発、農山村社会の活性化などに関する研究に取り組むとともに、新たな時代に向けた創造性豊かな人材の育成に努めています。

農学部

学 科 等	講 座 等
生 物 生 産 学 科	作物生産学、園芸生産学、病害虫制御学、家畜生産学、農業経営経済学
生 物 資 源 化 学 科	生命機能化学、食品機能化学、食糧生産化学
生 物 環 境 学 科	森林管理学、地域資源環境学、農林工学、生産環境工学
獣 医 学 科	家畜解剖学、家畜生理学、家畜薬理学、家畜病理学、家畜微生物学、獣医公衆衛生学、家畜内科学、家畜外科学、家畜臨床繁殖学、産業動物獣医学

(注) 獣医学科は学科目で示す。

附属教育研究施設 農場、演習林、家畜病院

農学研究科

区 分	専 攻
修士課程	生物生産学、生物資源化学、生物環境学



農学部1号館



BSE対策研究室に設置された共焦点レーザー走査顕微鏡

水産学部

水産学研究科

水産学部は、東南アジア・南太平洋を含む水域の陸水域から公海域までをフィールドとし、水産資源の持続的生産とその合理的利用、水圏環境の保全、生活文化の創出の分野で、地域社会と国際社会に貢献したいと考えています。食糧生産の確保と海洋環境の保全といった時代の要請に応えるため、高度で先端的教育を受けた技術者を養成し、熱帯・亜熱帯水域を対象とする諸活動では世界をリードしています。2003年には大学教育の分野では日本で初めて、国際的な品質基準であるISO9001認証を取得しました。

水産学部

学科等	講座等
水産学科 水産教員養成課程	環境情報科学、漁業基礎工学、海洋社会科学、資源育成科学、資源利用科学

附属教育研究施設	附属練習船かごしま丸(1,297トン)
	附属練習船南星丸(175トン)
	附属海洋資源環境教育研究センター
	資源利用科学実習工場、回流水槽実験室、鴨池海洋生産実験室

水産学研究科

区分	専攻
修士課程	水産学専攻



水産学部管理・研究棟



附属練習船南星丸

大学院医歯学総合研究科

大学院医歯学総合研究科は、多様な社会的要請に迅速に対応し、高度な教育と先端的研究を効率的に実施、解決するために、1.生命科学領域の教育研究のリーダーの育成、2.地域の特性を生かした生命医療科学領域の教育研究拠点の創出、3.専門性を備えながら医の倫理観を備えた生命医療人の育成を目標にし、疾病の予防と治療を使命とする医学と歯学が有機的に結合され、より柔軟で広範な生命医療科学の発展が期待できる大学院組織として、平成15年4月に博士課程、平成16年4月には修士課程(医科学専攻)が設置されました。

大学院医歯学総合研究科

区分	専攻	講座等
博士課程	健康科学	人間環境学、社会・行動医学、感染防御学、発生発達成育学、国際島嶼医療学(プロジェクト講座)、宇宙環境医学(連携講座)
	先進治療科学	神経病学、感覚器病学、運動機能修復学、循環器・呼吸器病学、生体機能制御学、顎顔面機能再建学、腫瘍学、再生・再建移植学(プロジェクト講座)
修士課程	医科学	

附属研究施設 難治ウイルス病態制御研究センター



桜ヶ丘キャンパスの全景



実習風景

大学院司法政策研究科

鹿児島大学法科大学院は、本年4月新設の3年制専門職大学院です。司法過疎と呼ばれる南九州に位置する法科大学院(司法政策研究科)として、これからの司法の在り方を構想、実現していく活動的な法曹を養成することを目的としています。修了者には法務博士の学位と新司法試験の受験資格が授与されます。学生定員30名、専任教員17名(兼任教員13名、兼任教員21名)という徹底した小人数教育を行い、法律実務家をめざす明確な問題意識や関心を育てつつ、新司法試験に合格するに十分な学力を涵養します。

大学院司法政策研究科(法科大学院)

区分	専攻
専門職学位課程 (法務博士)	法曹実務



講義が行われる郡元キャンパス内の総合教育研究棟



テレビ会議システムを使った法情報論の講義

大学院連合農学研究科

大学院連合農学研究科は佐賀大学、宮崎大学、琉球大学、鹿児島大学の連携・協力の基に、それぞれの大学の特色と地域特性を生かした農学・水産学系の博士課程後期の大学院である。先端農・水産学、地域貢献、国際交流を基本に学生の教育・研究の指導を行っている。学生は先端の生命科学から農・水産学の基本となる生命資源の利用と食糧生産、環境保全など人類の根源に関わるテーマで研究を進めている。修了後は、農学・水産学・学術のいずれかの博士称号が与えられ、教育職及び研究職などに就き活躍している。



共通セミナー
(一般風景)

大学院連合農学研究科

区分	専攻	連合講座
博士課程	生物生産科学	植物生産学、動物生産学、農林資源・経営学、熱帯資源生物学
	生物資源利用科学	応用生物化学、資源利用化学、生物機能開発学
	生物環境保全科学	生物環境保護学、生物生産工学
	水産資源科学	海洋生産環境学、水産資源利用学

(注)連合農学研究科は4大学(佐賀、宮崎、鹿児島、琉球)で構成。

山口大学大学院連合獣医学研究科

連合獣医学研究科は、平成2年4月に鹿児島大学、鳥取大学、山口大学及び宮崎大学が連合して設置された修業年限4年の博士課程で、基幹校は山口大学である。

本研究科は、1専攻(獣医学専攻)で、3連合講座から成り、学生の入学定員は12名であり、創造性豊かな研究者や高度の専門的知識と能力を有する人材を養成している。学生1人につき、主指導教官1人、副指導教官2人が指導に当たるが、他大学の教官並びに学生相互の討論を通して、自己を高めると同時に相互の親睦と連帯感の形成に役立っている。



山口大学大学院連合獣医学研究科

区分	専攻	連合講座
博士課程	獣医学	基礎獣医学、病態・予防獣医学、臨床獣医学

(注)山口大学大学院連合獣医学研究科は4大学(鳥取、山口、宮崎、鹿児島)で構成。

附属図書館

附属図書館は、中央図書館(郡元地区)、桜ヶ丘分館(桜ヶ丘地区)及び水産学部分館(下荒田地区)の3館で組織されており、教育・研究に必要な図書館資料を広い分野にわたり収集し利用に供している。利用者は、中央図書館及び二つの分館を共通に利用できる。

利用者サービスとしては、閲覧・貸出をはじめ、レファレンス・サービス、学内外の図書館との文献複写・現物貸借を行っている。また、文献情報データベース、電子ジャーナル等の学術情報発信の整備充実に努めている。

【開館時間】

区分	月～金	土	日
中央図書館	9:00 ～20:00	10:00 ～17:00	10:00 ～17:00
桜ヶ丘分館	9:00 ～21:00	10:00 ～18:00	10:00 ～18:00
水産学部分館	9:00 ～20:00	10:00 ～17:00	閉館

【休館日】

「国民の祝日に関する法律」に規定する休日及び
振替休日
鹿児島大学記念日(11月15日)
年末・年始(12月27日～1月5日)
その他、臨時に休館する場合があります。



中央図書館

【蔵書数】

図書(冊) (平成16年4月1日現在)

区分	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	合計
和漢書											
中央図書館	64,960	42,561	73,627	199,777	111,205	70,162	54,893	28,846	26,885	69,315	742,231
桜ヶ丘分館	1,012	1,771	681	5,312	87,664	1,159	367	624	1,741	1,339	101,670
水産学部分館	1,777	426	1,495	10,211	11,553	7,282	12,298	817	1,052	587	47,498
小計	67,749	44,758	75,803	215,300	210,422	78,603	67,558	30,287	29,678	71,241	891,399
洋書											
中央図書館	15,637	18,600	16,679	51,594	82,348	19,374	19,511	4,422	12,863	32,357	273,385
桜ヶ丘分館	854	328	113	625	74,013	95	77	77	421	423	77,026
水産学部分館	584	101	242	710	5,221	2,184	3,755	227	270	65	13,359
小計	17,075	19,029	17,034	52,929	161,582	21,653	23,343	4,726	13,554	32,845	363,770
合計	84,824	63,787	92,837	268,229	372,004	100,256	90,901	35,013	43,232	104,086	1,255,169

雑誌(種類数)

区分	和雑誌	洋雑誌	合計
中央図書館	14,748	7,361	22,109
桜ヶ丘分館	3,249	2,335	5,584
水産学部分館	1,971	937	2,908
合計	19,968	10,633	30,601

【中央図書館】(地上5階地下2階建 延床面積 12,697m²)

(平成16年5月1日現在)

区分	室名及びコーナー	内容	区分	室名及びコーナー	内容
地下1階	開架書庫	新聞、洋雑誌(1979以前)、和雑誌、政府刊行物等、コピー機(公費用)、OPAC用端末1台	3階	固定書架	一般図書(総記、哲学、歴史、社会科学)
地下2階	開架書庫	稀用図書、OPAC用端末1台		集密書架	国内大学の紀要
1階	メインカウンター	貸出、返却、利用案内等	参考図書コーナー	辞典・辞書類	
	レファレンスカウンター	参考調査、相互貸借受付	放送大学教材コーナー	放送大学教材	
	PACSコーナー	OPAC用端末5台	郷土資料コーナー	鹿児島県関係資料、玉里文庫複製本等	
	新聞閲覧コーナー	地方紙を含む新聞	PACSコーナー	OPAC用端末1台、教育研究用端末2台	
	参考図書コーナー	辞典・辞書類、二次資料、蔵書目録	複写コーナー	プリバードカード式コピー機1台	
	国際交流コーナー	留学生、国際理解のための図書資料	ラウンジ		
	地形図コーナー	日本全国の5万分の1の地形図	研究個室31～36	6室	
	AVコーナー	CS放送設備、ビデオライブラリー装置、CD-ROM視聴端末6台	グループ学習室31	ビデオプロジェクター、定員24名	
	展示コーナー	展示ケース2台	4階	固定書架	一般図書(自然科学、技術、産業、芸術、言語、文学)
	複写コーナー	カラーコピー機1台(公費用)、プリバードカード式コピー機1台		集密書架	稀用図書(洋書)、大型コレクション
カード目録コーナー	書名	参考図書コーナー		辞典・辞書類	
マルチメディア端末室	教育研究用端末14台	PACSコーナー		OPAC用端末1台、教育研究用端末2台	
リーダープリンタ室	リーダープリンタ2台、リーダー2台	複写コーナー	プリバードカード式コピー機1台		
視聴覚・マイクロ資料室	視聴覚・マイクロ資料、テレビデオ2台	ラウンジ			
2階	固定書架	外国雑誌バックナンバー(1980年以降)	5階	AVホール	ビデオ、LD、コンピュータ画像視聴設備
	集密書架	同上		貴重書庫	玉里文庫、古文書等
	ブラウジングコーナー	一般雑誌、グラフィック雑誌		貴重図書閲覧室	展示コーナー、閲覧席
	新着雑誌コーナー	国内及び外国新着雑誌		特殊資料書庫	岩元文庫、松本文庫、小北文庫、地券台帳等
	PACSコーナー	OPAC用端末1台、教育研究用端末2台			
	複写コーナー	コピー機1台(公費用)、プリバードカード式コピー機1台			
本学関係者著作寄贈図書コーナー	本学関係者著作				
研究個室	6室				
グループ学習室	21～22				

【桜ヶ丘分館】(地上3階建 延床面積 1,980m²)

区分	室名及びコーナー	内容	区分	室名及びコーナー	内容
1階	カウンター		3階	PACSコーナー	教育研究用端末3台
	PACSコーナー	教育研究用端末8台、プリバードカード式カラープリンタ1台		複写コーナー	プリバードカード式コピー機1台
	目録コーナー				一般図書
	複写コーナー	カラーコピー機1台(公費用)			和文雑誌バックナンバー
	新聞閲覧コーナー	新聞		ビデオコーナー	テレビデオ(DVD対応)2台
	新着雑誌展示室	新着雑誌			
書庫(集密書架)	稀用資料				
2階	PACSコーナー	教育研究用端末3台			
	複写コーナー	コピー機1台(公費用)、プリバードカード式コピー機1台			
	CD-ROMコーナー	CD-ROM視聴端末1台			
		参考図書、二次資料			
		カレント雑誌			
		欧文雑誌バックナンバー			

【水産学部分館】(地上2階建 延床面積 849m²)

区分	室名及びコーナー	内容
1階	カウンター	
	PACSコーナー	OPAC用端末3台、CD-ROM視聴端末1台、教育研究用端末1台
	新聞閲覧・新着雑誌コーナー	新聞・新着雑誌
2階	複写コーナー	カラーコピー機1台(公費用)
	ロッカー	稀用図書、雑誌
2階	閲覧室	一般図書、参考図書、逐次刊行物
	PACSコーナー	教育研究用端末6台、OPAC用端末1台
	視聴覚室	ビデオ資料
	雑誌室	国内大学紀要
	複写コーナー	プリバードカード式コピー機1台



桜ヶ丘分館



水産学部分館

保健管理センター

保健管理センターでは、現在、以下の業務を行っています。

定期健康診断並びに臨時健康診断 心理相談並びに学生相談 日常の一般診療 健康診断書発行 健康教育活動など

なお、これらの業務には、センター専任の医師、看護師の他に非常勤で学内から内科、精神神経科、放射線科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、婦人科、歯科の教員が学医として、また、法文学部、教育学部の心理学の教員がカウンセラーとしてそれぞれ診療やカウンセリングにあっている。



診療科目	曜日	時間
内科	月・水・木・金	9～11時 14時～16時
精神神経科	月・水・木・金	9～11時 14時～16時
	水(第2・第4)	14時～16時(桜ヶ丘分室)
心理相談	木(第1・第3)	14時～16時
	木(第2・第4)	14時～16時
整形外科	木(第1・第3)	14時～16時
耳鼻咽喉科	木(第2・第4)	14時～16時
特別健康診断・臨時健康診断	火	9～11時 14時～16時

(ただし、緊急の場合は、この限りではありません)
表に載っていない診療科については、診療日を別に設けている。
なお、定期健康診断期間中、夏冬春休暇期間中は休診となる場合がある。

地域共同研究センター

本学の産学官連携の推進拠点として、民間等外部機関との共同研究を推進することにより、本学の研究成果の実用化を促し、もって地域社会の産業振興と本学の教育研究の進展に寄与する。



地域共同研究センター外観

多島圏研究センター

アジア太平洋の多島域について、学際的な調査研究を実施して学術の国際交流を図り、これらの地域の福祉発展に寄与することを目的とし、学内外の協力者と連携協力しながら、フィールドワークを重視した研究活動に取り組んでいる。



ウリシー環礁調査風景

アイソトープ総合センター

放射性同位元素及び放射線を利用する教育研究を推進するとともに、本学の放射線施設の安全管理に関し中心的な役割を担うことを目的とする。

留学生センター

留学生センターは、外国人留学生及び海外留学を希望する本学の学生に、必要な教育及び指導助言等を行うことにより、本学における国際交流の推進に寄与することを目的として、平成12年4月に設置された。この目的のために、外国人留学生に対する、日本語日本文化教育、学習カウンセリング、地域社会との交流推進や、海外留学を希望する学生への情報提供などを行っている。

総合研究博物館

総合研究博物館は、学内の貴重な学術資料を一元的に整理・管理・展示公開して研究・教育に効果的に利用し、さらに広く一般社会へ学術標本に関する情報を発信する役割を担うことを目的として平成13年4月に設置された。

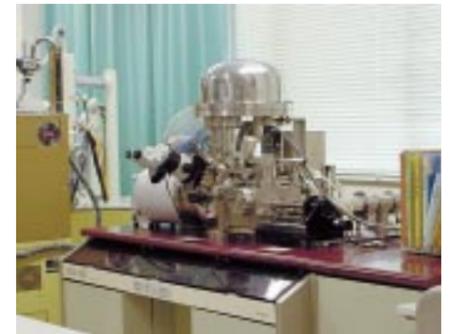
平成16年5月には、常設展示室を開設し、学術資料や研究の成果を一般にむけて公開している。



総合研究博物館常設展示室

機器分析センター

大型・高性能機器の計画的導入及び集中管理による各種計測・分析機器の有効かつ円滑な共同利用を図り、学内の教育研究を支援することを目的に平成13年4月に設立された。本部を郡元キャンパスに、分室を桜ヶ丘キャンパスに設置して運営されている。



生命科学資源開発研究センター

生命科学資源開発研究センターは生命科学分野の教育研究の総合推進を図ることを目的として、平成14年4月に設置された。センターは1)遺伝子研究分野、2)実験動物研究分野、3)医用ミニプタ研究分野の3研究分野から構成され、移植・再生制御等の研究を推進している。



学術情報基盤センター

学術情報基盤センターは、鹿児島大学の情報通信基盤を担う中核的存在として、教育研究用計算機システムおよびキャンパス情報ネットワークの運用管理を行うほか、情報通信技術分野の研究開発を推進することを目的として平成15年4月に設置された。





生涯学習教育研究センター

当センターは、大学が蓄積する知的資源との関係から生涯学習を研究する。また各地域の特性に基づく生涯学習の課題と方法を、地域のニーズに従って講座、セミナー、シンポジウムを提供し、指導者の養成も含め地域に貢献するセンターである。



海外で開催した生涯学習シンポジウム(ベトナム)

教育センター

教育センターは、「高等教育研究開発部」、「共通教育企画実施部」、「外国語教育推進部」の三部で構成され、教育に係る全学的な連絡調整等を行うことにより、本学の教育の拠点として教育の充実・発展を図ることを目的として、平成15年10月1日に設置されました。



知的財産本部

知的財産本部は、本学の知的財産に関する基本方針に基づき、教育研究活動の中で生まれた知的財産を一元的に取り扱うとともに、戦略的な推進を図ることを目的として、平成15年12月25日に設置されました。

埋蔵文化財調査室

埋蔵文化財調査室では、学内の施設整備に伴うキャンパス内遺跡の発掘調査を行い、そこから得られた埋蔵文化財の整理、研究、報告書作成を行っており、調査時には、一般市民向けの体験発掘や、遺跡見学会を開催している。



ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

政府のVBL設立の趣旨を実行し、加えて産学連携やベンチャー起業のためのインキュベーション機能をも有する教育・研究施設。起業時に必要な実学的教育プログラムを社会人も受講可能な大学院科目として開講するとともに、「ナノバイオ」関連のプロジェクト研究を推進している。

(URL:<http://www.vbl.kagoshima-u.ac.jp/>)



稲盛会館

本学工学部出身の京セラ(株)名誉会長稲盛和夫氏から寄贈されたもので、教育及び学術の交流の場として本学の職員その他関係者の利用に供することにより、本学の教育研究の進展に資するとともに、学術及び文化の向上に寄与することを目的としている。



日本を代表する著名な建築家安藤忠雄氏の設計
(地下1階～地上3階建、建面積810.40G、延面積1,628.85G)



施設名	所在地	備考	施設名	所在地	備考
陸上競技場	郡元地区	400mトラック、夜間照明あり	医・歯学部課外活動施設(武道場)	桜ヶ丘地区	451m ²
球技場	"	夜間照明あり	弓道場	郡元地区	39m×14m
亀ヶ原運動場	桜ヶ丘地区	野球場	"	桜ヶ丘地区	38m×12m
桜ヶ丘グラウンド	"	サッカー・ラグビー場	室内プール	郡元地区	50m(7コース)
テニスコート	郡元地区	8面、夜間照明あり			
"	桜ヶ丘地区	8面			
第1体育館	郡元地区	1,122m ²			
第2体育館	"	2,461m ²			
桜ヶ丘体育館	桜ヶ丘地区	1,072m ²			
武道館	郡元地区	391m ²			



大学会館

大学会館は、学生相互並びに学生と教職員間の人間関係を緊密にし、かつ、学生の教養を高め、豊かな人間性・社会性を涵養するための課外教育活動を盛んにし、また、その厚生福祉に寄与することを目的に、1号館が昭和47年3月、2・4号館が昭和36年5月、3号館が昭和37年8月に設置された。

開館時間は午前9時から午後9時まで、休館日は日曜日・祝日及び12月29日から翌年1月3日までとなっている。



1号館

建物名称	階別	施設名	用途等
1号館 (1,409m ²)	1	軽食堂	喫茶、食事 (64席)
		理髪室	理髪 (4台)
	2	共用談話室	休憩、談話 (52人)
		音楽鑑賞室	音楽鑑賞 (56人)
	3	会議室(1・2)	会議、研究会等 (42人・20人)
		和室(1~5)	会議及び邦楽、茶道、華道等の練習 8帖 2室 12帖 2室 45.5帖 1室
4	ホール	音楽会、講演会、研究会等(300人)	
	音楽練習室(1・2)	音楽等練習	
2号館 (779m ²)	1	小集会室	会議、展示会等
	2	サークル連絡室	サークル活動
3号館 (422m ²)	1	大集会室	音楽会、講演会、映画会、研究会等(500人)
	1	厚生センター	書籍、日用品等の購売

課外活動施設

課外活動(サークル)は、大学教育における人間形成の上で必要不可欠であり、各キャンパス毎に課外活動施設を有している。体育系サークルが利用する体育施設、文化系サークルが主に利用する大学会館(1~3号館)以外に、平成14年3月に設置された課外活動共用施設などがある。

課外活動共用施設は、サークル間の交流・連携の場(学生の交流プラザ)としての中庭を囲むようにして、防音設備完備の音楽練習室、シャワー室、共用ラウンジ、共用ミーティング室及びサークル室等を配置し、文化系、体育系合わせて90サークルが使用している。

施設名	所在地	備考
課外活動共用施設	郡元地区	文化系・体育系サークル
馬房(厩舎)	郡元地区	馬術
平川艇庫	平川町海岸	ヨット
磯艇庫	磯海岸	ボート
鴨池艇庫	鴨池臨海地	カッター



課外活動共用施設

食堂



郡元南食堂

食堂名	延面積	席数	所在地
中央食堂	1,347m ²	520席	総合地区(郡元地区)
郡元南食堂	882m ²	174席	教育学部内(")
桜ヶ丘会館	417m ²	160席	医学部内(桜ヶ丘地区)
水産学部食堂	350m ²	128席	水産学部内(下荒田地区)

国際交流会館

国際交流会館は、本学の外国人留学生及び本学において教育・研究に従事する外国人研究者に対し居住の場を提供し、国際交流の促進に資することを目的に1号館が昭和54年4月に2号館が平成6年10月に設置された。

平成16年5月1日現在、22ヶ国73名の外国人留学生、外国人研究者が居住している。



国際交流会館

(1号館)			(2号館)		
室名	面積(m ²)	室数	室名	面積(m ²)	室数
単身室	12	35室	単身室	12	30室
夫婦室	39	3室	夫婦室	40	6室
家族室	59	2室	家族室	58	4室
主事室	14		補食室	11	4室
事務室	16		洗濯・シャワー室	11	4室
談話室	47		ラウンジコーナー	39	
娯楽室	94		談話コーナー	14	
和室	25				
補食室	5~12	4室			
浴室	3~8	4室			
洗濯室	10	4室			
管理人室	52				
倉庫	7				

備考: 延面積 1,259m²
建物構造 R4

備考: 延面積 1,430m²
建物構造 RC4

外国人研究者宿泊施設

鹿児島大学創立50周年記念事業の一環で寄付された外国人研究者のための宿泊施設で、平成15年末に下荒田キャンパスに完成した。

建物は鉄骨造地上2階、延床面積502gで長期滞在用と短期滞在用の計16室の単身室で構成され、各個室にはテレビ、冷蔵庫等が備えられている。



学生寮



棟名	区分		建物	延面積(m ²)	収容定員(名)
	A棟	B棟			
唐湊寄宿舍	鉄筋5階建	"		1,412	76
	鉄筋2階建	"		1,568	92
	鉄筋4階建	"		629	64
	鉄筋1階建	"		1,600	81
桜ヶ丘寄宿舍	鉄筋5階建			317	
合計				2,696	99
合計				8,222	412

現員 (平成16年5月1日現在)

部局	職別	学長	役員	教授	助教授	講師	助手	教諭	小計	事務職員 技術職員等	合計
学長		1							1		1
役員			8						8		8
事務局										211	211
附属図書館										17	17
桜ヶ丘分館										4	4
水産学部分館										2	2
保健管理センター				1	1				2	1	3
地域共同研究センター					1				1		1
多島圏研究センター				3	1				4		4
アイソトープ総合センター					1				1		1
留学生センター				2	2				4		4
総合研究博物館				1	3		1		5		5
機器分析センター					0				0	3	3
生命科学資源開発研究センター				2	4		2		8	3	11
学術情報基盤センター				3	2		1		6	3	9
生涯学習教育研究センター				1	1				2		2
法文学部				56	42	1	4		103	10	113
教育学部				60	34	6			100	18	118
附属教育実践総合センター				2	1	1			4		4
附属小学校								36	36	7	43
附属中学校								30	30	2	32
附属養護学校								26	26	2	28
附属幼稚園								4	4		4
理学部				38	25	3	11		77	10	87
附属南西島弧地震火山観測所					1		1		2	1	3
医学部				25	7	7	18		57	1	58
医学部・歯学部附属病院				2	9	40	96		147	592	739
工学部				45	42	2	29		118	41	159
農学部				45	44	2	13		104	19	123
附属農場				1	1		1		3	17	20
附属演習林				1	1				2	6	8
附属家畜病院					1				1	1	2
水産学部				19	17	5	5		46	12	58
附属練習船かごしま丸					1	2	2		5	30	35
附属練習船南星丸					1	1	0		2	11	13
附属海洋資源環境教育研究センター				3	1		2		6	7	13
大学院人文社会科学研究科				1	1	0	0		2	0	2
大学院理工学研究科				7	4	0	3		14		14
大学院医学総合研究科				53	43	17	112		225	21	246
附属難治ウイルス病態制御研究センター				4	2	1			7		7
医歯学総合研究科等				0	0				0	30	30
大学院司法政策研究科				11	1				12		12
大学院連合農学研究科				(125) 1	(53) 0		(28) 0		(206) 1		(206) 1
計		1	8	(125) 387	(53) 295	88	(28) 301	96	(206) 1,176	1,082	(206) 2,258

(注) ()書きは、兼職教員数を外数で示す。

(学部) (平成16年5月1日現在)

学部	学科・課程	入学定員	3年次 編入学定員	現員						
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
法文学部	法政策学科	95	10	104(46)	136(49)	137(63)	180(75)			557(233)
	経済情報学科	145		156(79)	151(66)	153(69)	197(91)			657(305)
	人文学科	155		175(133)	170(129)	170(120)	240(162)			755(544)
	小計	395		435(258)	457(244)	460(252)	617(328)			1,969(1,082)
教育学部	学校教育教員養成課程	225		238(116)	237(119)	234(129)	316(149)			1,025(513)
	養護学校教員養成課程	15		17(10)	15(11)	15(11)	17(11)			64(43)
	生涯教育総合課程	35		42(26)	39(24)	35(25)	56(37)			172(112)
	小計	275		297(152)	291(154)	284(165)	389(197)			1,261(668)
理学部	数理情報科学科	40		42(3)	40(9)	69(5)	43(12)			194(29)
	物理科学科	45		53(10)	50(8)	69(18)	37(2)			209(38)
	生命化学科	50		55(23)	53(29)	65(31)	48(23)			221(106)
	地球環境科学科	50		55(20)	59(30)	63(30)	50(15)			227(95)
小計	185	205(56)	202(76)	266(84)	178(52)			851(268)		
医学部	医学科	85	10	87(25)	91(30)	94(37)	104(33)	95(31)	103(39)	574(195)
	保健学科	120	20	120(92)	121(92)	130(111)	146(123)			517(418)
	小計	205	30	207(117)	212(122)	224(148)	250(156)	95(31)	103(39)	1,091(613)
歯学部	歯学科	55		55(24)	52(15)	68(21)	72(23)	74(25)	53(16)	374(124)
工学部	機械工学科	94	10	127(6)	114(3)	100(1)	105(1)			446(11)
	電気電子工学科	78		99(2)	130(2)	99(6)	84(6)			412(16)
	建築学科	55		66(16)	75(23)	78(11)	69(16)			288(66)
	応用化学工学科	60		81(17)	63(18)	83(9)	57(16)			284(60)
	海洋土木工学科	48		61(6)	69(7)	77(9)	40(1)			247(23)
	情報工学科	60		72(3)	74(5)	98(9)	55(4)			299(21)
	生体工学科	60		70(28)	77(25)	54(26)	61(20)			262(99)
小計	455	10	576(78)	602(83)	589(71)	471(64)			2,238(296)	
農学部	生物生産学科	80		86(33)	83(35)	83(37)	93(54)			345(159)
	生物資源化学科	60		70(33)	63(33)	65(37)	77(40)			275(143)
	生物環境学科	65		66(20)	67(22)	69(24)	84(28)			286(94)
	獣医学科	30		34(16)	32(15)	33(17)	32(16)	32(9)	33(18)	196(91)
小計	235	256(102)	245(105)	250(115)	286(138)	32(9)	33(18)	1,102(487)		
水産学部	水産学科	130		133(39)	139(54)	130(50)	164(51)			566(194)
	水産教員養成課程	10		13(4)	13(3)	13(3)	18(6)			57(16)
	小計	140		146(43)	152(57)	143(53)	182(57)			623(210)
合計	1,945	50	2,177(830)	2,213(856)	2,284(909)	2,445(1,015)	201(65)	189(73)	9,509(3,748)	

(注) 1. ()は女子を内数で示す。

2. 現員には外国人留学生を含む。

3. 医学部医学科の編入学定員は2年次後期編入学定員

(大学院)

(平成16年5月1日現在)

研究科名	入学定員	現 員									合 計
		修士課程(博士前期)			博士課程(博士後期)又は専門職学位課程					計	
		1年	2年	計	1年	2年	3年	4年			
人文社会科学研究科	37	44(27)	59(27)	103(54)							103(54)
	6				11(5)	13(4)				24(9)	24(9)
教育学研究科	38	53(24)	50(14)	103(38)							103(38)
保健学研究科	22	26(15)	29(20)	55(35)							55(35)
理工学研究科	216	267(35)	276(34)	543(69)							543(69)
	34				35(1)	36(5)	39(3)			110(9)	110(9)
農学研究科	68	80(21)	73(31)	153(52)							153(52)
水産学研究科	32	37(10)	33(9)	70(19)							70(19)
医歯学総合研究科	20	19(6)		19(6)							19(6)
	94				78(17)	80(26)				158(43)	158(43)
医学研究科					7(2)	60(11)	120(15)			187(28)	187(28)
歯学研究科						11(3)	9(4)	20(7)		20(7)	20(7)
司法政策研究科	30				31(9)					31(9)	31(9)
連合農学研究科	22				64(23)	59(16)	76(22)			199(61)	199(61)
計	619	526(138)	520(135)	1,046(273)	219(55)	195(53)	186(39)	129(19)		729(166)	1,775(439)
山口大学大学院連合獣医学研究科	12				6(3)	4(1)	3(2)	4(0)		17(6)	17(6)

- (注) 1.()は女子を内数で示す。
 2.現員には外国人留学生を含む。
 3.司法政策研究科は専門職学位課程(法科大学院)である。
 4.連合農学研究科は鹿児島・佐賀・宮崎・琉球の4大学の構成によるものである。
 5.山口大学大学院連合獣医学研究科の現員数は、鹿児島大学(指導教育)に属する学生数である。

社会人在学生の職業別内訳

(平成16年5月1日現在)

研究科名	職業別	学校教育			公務員(教員を除く)			民間企業等	計
		公立	私立	計	国	地方	計		
人文社会科学研究科	博士前期	2	1	3	1	4	5	16	24
	博士後期	2	3	5		2	2	3	10
教育学研究科		25		25		1	1		26
保健学研究科		1	2	3	15	3	18	26	47
医学研究科		1		1	26	17	43	90	134
歯学研究科									
理工学研究科	博士前期		1	1				1	2
	博士後期	6	3	9	2	3	5	19	33
農学研究科								2	2
水産学研究科								1	1
医歯学総合研究科		1	2	3	39	15	54	64	121
司法政策研究科									
連合農学研究科		2	4	6	4	5	9	10	25
計		40	16	56	87	50	137	232	425
山口大学大学院連合獣医学研究科								9	9

(注) 1.前頁大学院の院生数(現員)のうち社会人在学生を職業別に計上した。

(教育学部附属小学校)

(平成16年5月1日現在)

学校名	学級区分	入学定員	現 員						計	学 級 数		
			1年	2年	3年	4年	5年	6年				
附属小学校	普通学級	160	159	156	154	153	160	155	937	各学年4学級 計24学級		
	複式学級	1年	8	8						51	1・2年で1学級	
		2年	8		9							
		3年	8			9					3・4年で1学級 計3学級	
		4年	8				7					
		5年	8					8				5・6年で1学級
		6年	8						10			
計	168	167	165	163	160	168	165	988				

(教育学部附属中学校)

(平成16年5月1日現在)

学校名	学級区分	入学定員	現 員			計	学 級 数
			1年	2年	3年		
附属中学校	普通学級	200	200	200	199	599	各学年5学級 計15学級

(教育学部附属養護学校)

(平成16年5月1日現在)

学校名	学級区分	入学定員	現 員						計	学 級 数
			1年	2年	3年	4年	5年	6年		
附属養護学校	小学部	3	3	3	4	3	3	3	19	1・2学年で1学級 3・4学年で1学級 計3学級 5・6学年で1学級
	中学部	6	6	6	7				19	各学年1学級 計3学級
	高等部	8	8	8	9				25	各学年1学級 計3学級

(教育学部附属幼稚園)

(平成16年5月1日現在)

学校名	入 園 定 員	現 員				計	学 級 数
		3才児	4才児	5才児			
附属幼稚園	20	20	33	33	86	3才児、4才児、5才児 各1学級 計3学級	
	16						

4才児は3年保育進級児と2年保育入園児5才児は4才児の進級児



附属中学校の総合的な学習(薩摩の食文化コース)



附属養護学校小学部の「仲よし散歩」

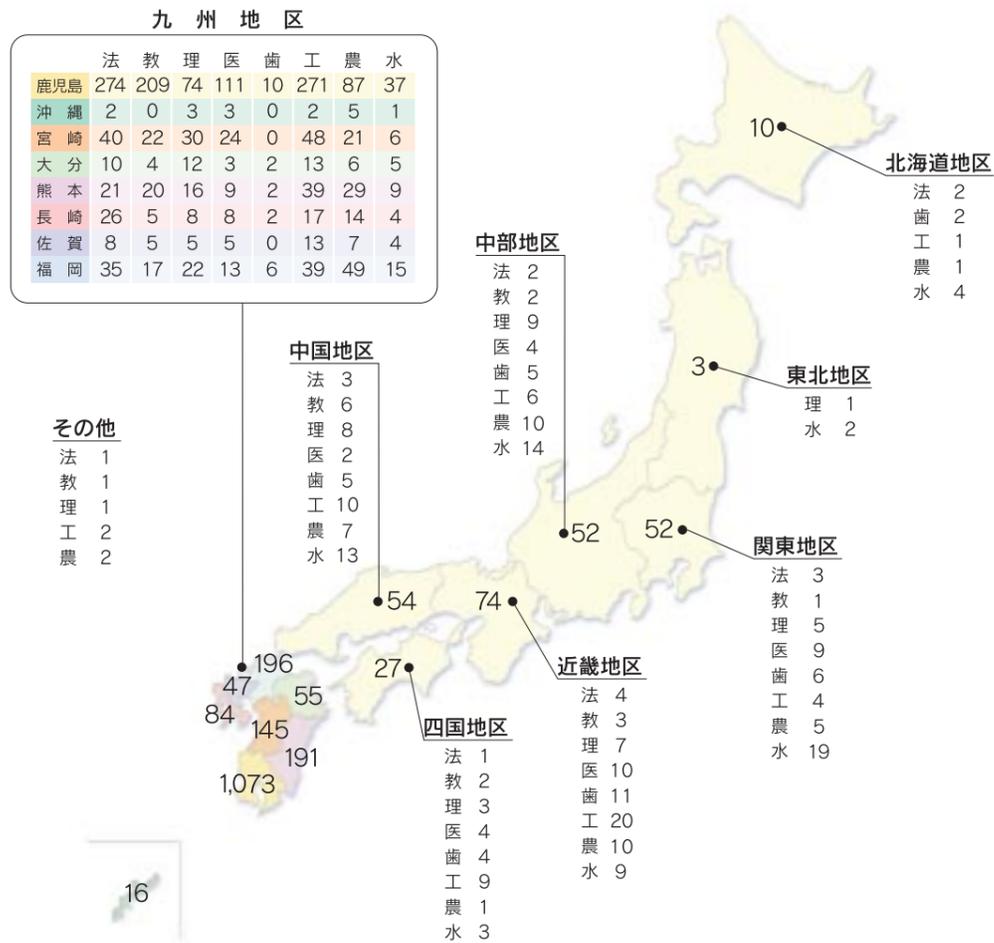
(学部) (平成16年5月1日現在)

学部名	入学定員	志願者数	入学者数	入学者の出身地別 百分比(%)	
				県内	県外
法文学部	395	1,554 (797)	3(2) 432(256)	63.4	36.6
教育学部	275	1,127 (591)	297(152)	70.4	29.6
理学部	185	584 (166)	1(0) 204(56)	36.3	63.7
医学部	205	884 (414)	2(1) 205(116)	54.1	45.9
歯学部	55	329 (124)	55(24)	18.2	81.8
工学部	455	1,417 (189)	10(5)*2(0) 494(66)	54.9	45.1
農学部	235	756 (331)	2(2) 254(100)	34.3	65.7
水産学部	140	672 (217)	1(0) 145(43)	25.5	74.5
合計	1,945	7,323(2,829)	19(10) 2,086(813)	51.4	48.6

(注) 1. ()は女子を内数で示す。
 2. は私費外国人留学生(マレーシア政府派遣学部留学生も含む)を外数でそのうち()は女子を内数で示す。
 3. *は日韓共同理工学部留学生を外数でそのうち()は女子を内数で示す。

入学者出身地別内訳(出身高校等所在地による)

(注)その他は、大学入学資格検定試験合格者、在外教育施設及び帰国子女特別選抜による入学者を示す。



大学院 (平成16年5月1日現在)

研究科名	入学定員	修士課程 (博士前期)		博士課程 (博士後期)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
人文社会科学研究科	37	7(2) 80(46)	4(2) 40(25)		
	6			3(2) 12(6)	3(2) 8(3)
教育学研究科	38	12(7) 51(29)	10(7) 43(24)		
保健学研究科	22	28(17)	26(15)		
理工学研究科	216	14(1) 364(49)	12(1) 267(35)		
	34			7(1) 28(10)	7(1) 28(10)
農学研究科	68	14(3) 82(23)	13(2) 67(19)		
水産学研究科	32	3(0) 44(14)	3(0) 34(10)		
医歯学総合研究科	114	22(7)	19(6)	3(0) 55(11)	3(0) 53(11)
連合農学研究科	22			21(8) 39(13)	21(8) 39(13)
合計	577	44(0) 598(154)	37(8) 467(125)	51(22) 159(35)	48(21) 148(31)

平成15年度秋季入学 (平成16年5月1日現在)

医学研究科				1(0) 7(2)	1(0) 7(2)
連合農学研究科				3(1) 2(1)	2(1) 2(1)

大学院(専門職学位課程) (平成16年5月1日現在)

研究科名	入学定員	専門職学位課程	
		志願者数	入学者数
司法政策研究科	30	295(64)	31(9)

(注) 1. ()は女子を内数で示す。
 2. は外国人留学生を外数でそのうち()は女子を内数で示す。

卒業(修了)生数及び就職状況

(平成16年5月1日現在)

学部名	卒業生数 (累計)	平成 15年度 卒業生数	就職状況																	
			就職 希望 者数	就職 者数 (%)	就職率	業 種 別						地 区 別								
						農 業	林 業	建設製造 電気ガス水道 情報通信運輸 卸小売	金融保険 医療福祉 総合サービス	公務員	教 員	その他	関 東	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	鹿 児 島	宮 内
法文学部	11,224	433	283	231	81.6			80	97	39	8	7	52	8	13	3	4	46	105	
教育学部	15,637	262	179	156	87.2			8	32	16	93	7	5	2	1	1		19	123	5
理学部	4,904	204	92	82	89.1			26	28	8	19	1	18	1	4	2		18	38	1
医学部	4,415	245	118	114	96.6								18		5	3		50	38	
歯学部	1,346	43																		
工学部	12,884	410	165	161	97.6			102	43	14	1	1	53	11	17			39	41	
農学部	9,955	252	165	138	83.6	10	50	46	21	6	5	22	3	10	6	2		39	54	2
水産学部	6,051	142	85	70	82.4	4	37	20	5	3	1	16	7	14	2	1		14	16	
(文理学部)	2,651																			
合 計	69,067	1,991	1,087	952	87.6	14	303	380	103	130	22	184	32	64	17	7	225	415	8	

(注)1.卒業生数(累計)は昭和24年5月本学設置以降の全数を計上した。ただし、医・工学部については昭和30年国立移管以降について計上した。
2.卒業生数は9月卒業生を含む。
3.医学部の就職状況は保健学科を表す。

大学院

(平成16年5月1日現在)

研究科名	修士課程		博士課程	
	修了生数 (累計)	平成15年度 修了生数	修了生数 (累計)	平成15年度 修了生数
人文社会科学研究科	179	50		
教育学研究科	321	41		
医学研究科			475	15
歯学研究科			97	2
理工学研究科	3,041	238	180	29
農学研究科	1,379	58		
水産学研究科	823	30		
連合農学研究科			385	33
(法学研究科)	123			
(人文社会科学研究科)	120			
(理工学研究科)	539			
計	6,525	417	1,137	79

(注)博士課程については、単位取得後退学した者は含まない。

学位授与状況

(平成16年5月1日現在)

研究科名	修士課程		博士課程			
	累 計	平成15年度授与	累 計	平成15年度授与	累 計	平成15年度授与
法 学 研 究 科	123					
人 文 科 学 研 究 科	120					
人 文 社 会 科 学 研 究 科	179	50				
教 育 学 研 究 科	321	41				
理 学 研 究 科	539					
医 学 研 究 科			567	26	1,391	30
歯 学 研 究 科			118	5	53	3
理 工 学 研 究 科	3,041	238	193	34	29	4
農 学 研 究 科	1,379	58				
水 産 学 研 究 科	823	30				
連 合 農 学 研 究 科			448	41	67	19
計	6,525	417	1,326	106	1,540	56

(注)1.医学研究科については、国立移管後の数を計上した。

奨学生

(平成16年5月1日現在)

学部等名	在学生数	日本学生支援機構			各種団体 育英会	計	在学生に対する 百分率	
		第一種奨学生	第二種奨学生	きぼう21プラン				
学 部	法 文 学 部	1,969	284		323	42	649	33.0
	教 育 学 部	1,261	167		188	29	384	30.5
	理 学 部	851	131		116	19	266	31.3
	医 学 部	1,091	150		195	30	375	34.4
	歯 学 部	374	53		94	4	151	40.4
	工 学 部	2,238	286	1	332	18	637	28.5
	農 学 部	1,102	135		164	12	311	28.2
	水 産 学 部	623	44		97	7	148	23.8
	計	9,509	1,250	1	1,509	161	2,921	30.7
	大 学 院 (修 士 課 程)	人 文 社 会 科 学 研 究 科	103	10		7		17
教 育 学 研 究 科		103	9		8		17	16.5
理 工 学 研 究 科		543	101		41	2	144	26.5
農 学 研 究 科		153	33		4		37	24.2
水 産 学 研 究 科		70	6		6		12	17.1
保 健 学 研 究 科		55			1		1	1.8
計		1,027	159	0	67	2	228	22.2
大 学 院 (博 士 課 程)	人 文 社 会 科 学 研 究 科	24	5				5	20.8
	理 工 学 研 究 科	110	16		2	1	19	17.3
	医 歯 学 総 合 研 究 科	158	9		4		13	8.2
	医 学 研 究 科	187	5				5	2.7
	歯 学 研 究 科	20	9		2		11	55.0
	連 合 農 学 研 究 科	199	34		1		35	17.6
計	698	78	0	9	1	88	12.6	
合 計	11,234	1,487	1	1,585	164	3,237	28.8	

<備考:奨学金月額>
日本学生支援機構(平成16年度入学者)
第1種奨学生 学部生:自宅通学 44,000円 自宅外通学 50,000円
大学院生:修士・博士前期課程 87,000円 博士後期課程 121,000円
きぼう21プラン 学部生:30,000・50,000・80,000・100,000円
大学院生:50,000・80,000・100,000・130,000円
各種団体育英会 10,000~51,000

(出身国別) 43カ国・地域344名

(平成16年5月1日現在)

地域	国名	法文学部	教育学部	理学部	医学部	歯学部	工学部	農学部	水産学部	連合農学研究科	留学生センター	教育センター	合計
アジア州	バングラデシュ			1	2			1		3			7
	カンボジア									3			3
	中国	21	20	8	18	1	34	20	11	25			158
	インド									3			3
	インドネシア			4				2	1	1	7	3	18
	イラン				2			1					3
	ヨルダン							1			1		2
	韓国	11	1		3	1	4(2)	1	1	3		1	26(2)
	マレーシア			1				11			2		14
	ミャンマー			1	1			3	1	1	6	1	14
	パキスタン			1	2			3			1	1	8
	フィリピン			1	1						7	1	10
	スリランカ										4		4
	タイ	1					1		2		4	1	9
トルコ										2		2	
ベトナム			2				3	1	1	4		11	
イエメン										1		1	
ラオス			1									1	
台湾	3			2			2					7	
大洋州	オーストラリア		2				2				1		5
	バブアニューギニア			1									1
アフリカ州	カメルーン			1									1
	ガーナ									1			1
	コンゴ			1									1
	コートジボワール							1					1
	エジプト								1	2			3
	エチオピア										1		1
	ケニア										1		1
	リビア											1	1
	モーリタニア									1			1
	ナイジェリア								1				1
	マラウイ									1			1
	タンザニア							4	1		1		6
欧州	スペイン						1						1
	ドイツ	1	1										2
NIS諸国	ロシア						1						1
北アメリカ州	メキシコ									1			1
	アメリカ合衆国			1					1				2
南アメリカ州	アルゼンチン						1			1			2
	ブラジル				2								2
	コロンビア				3			1	1				5
	グアテマラ									1			1
ペルー									1			1	
合計		37	27	21	36	3	69(2)	33	21	85(2)	11	1	344(2)

印内は内数で国費留学生、()内は内数で日韓共同理工系学部留学生

(平成16年5月1日現在)

在籍身分	法文学部	教育学部	理学部	医学部	歯学部	工学部	農学部	水産学部	連合農学研究科	留学生センター	教育センター	合計
大学院 博士 博士後期 Ⅱ				8								8(4)
” ” Ⅲ			2	6	1	5			30(13)			44(18)
” ” Ⅱ	3		1	6		7			32(22)			49(27)
” ” Ⅰ	3		3	6		4			23(17)			39(26)
” 修士 博士前期 Ⅱ	6	8	4			12	5	6				41(10)
” ” Ⅰ	1	4	10	5		7	13	3				42(12)
学部	6			1								1
” ” Ⅴ												
” ” Ⅳ	2	1		2	1	2	3	2				13
” ” Ⅲ	3	1	2		1	7		2				13
” ” Ⅱ	2		1	3		5		2				13
” ” Ⅰ	3		1	2		15(2)	2	1				24(2)
研究 生	5	2	1	2		3	2	2				17(1)
科目等履修 生		2					1				1	4(2)
特別研究 学生							2					2
特別聴講 学生	8	4	1			2	5	3				23
日本語 研修コース 生										11(1)		11(1)
合計	37	27	21	36	3	69(2)	33(7)	21(5)	85(2)	11(1)	1	344(2)

大学院連合農学研究科85名の内訳(鹿大41 ② 宮大18 佐大15 琉大11)

(経費種別) *43カ国344名

(平成16年5月1日現在)

種別	大学院生	学部学生	研究生	科目等履修生	特別研究学生	特別聴講学生	日本語研修コース生	合計
国費留学生	97(32)		1	2(2)			11(4)	111(38)
マレーシア政府派遣		10(4)						10(4)
エジプト政府派遣	1							1
鹿児島県費留学生			3(2)					3(2)
日韓共同理工系学部留学生		2						2
短期推進制度による留学生					2(2)	8(3)		10(5)
私費留学生	125(44)	52(25)	13(4)	2		15(7)		207(80)
計	223(76)	64(29)	17(6)	4(2)	2(2)	23(10)	11(4)	344(129)

()内は女子を内数で示す。

(学部別)

(平成16年5月1日現在)

学部	国費		外国政府派遣		私費		合計
	学部学生	研究生等	学部学生	研究生等	学部学生	研究生等	
法文学部					8(5)	12(5)	20(10)
教育学部		3(2)			1(1)	5(2)	9(5)
理学部					4(2)	2	6(2)
医学部					8(5)	2(2)	10(7)
歯学部					2		2
工学部			10(4)		19(4)	5(2)	34(10)
農学部					5(5)	8(3)	13(8)
水産学部					7(3)	3(1)	10(4)
教育センター						1	1
合計		3(2)	10(4)		54(25)	38(15)	105(46)

()内は女子を内数で示す。

(大学院別)

(平成16年5月1日現在)

研究科	国費		外国政府派遣		私費		合計		
	大学院生	研究生等	大学院生	研究生等	大学院生	研究生等			
人文社会科学研究科		2(1)			10(4)	1(1)	4(3)	17(9)	
教育学研究科	1				17(10)			18(10)	
医学研究科		4(2)					11(3)	15(5)	
歯学研究科		1(1)						1(1)	
医歯学総合研究科		4(2)					7(5)	11(7)	
理工学研究科	9(1)	12(3)			19(1)	10(1)		50(6)	
農学研究科	7(2)				11(1)	2(2)		20(5)	
水産学研究科	5(1)				4	2		11(1)	
連合農学研究科		52(19)		1			32(16)	85(35)	
留学生センター		11(4)						11(4)	
合計	22(4)	11(4)	7(2)	28	1	61(16)	5(3)	64(28)	239(83)

()内は女子を内数で示す。

【大学間学術交流協定校 11カ国・33機関】 (平成15年度実績)

国・地域	締結機関名	学生交流覚書の有無	締結年月日	受入数	派遣数	共同研究	
中国	湘潭大学	有	昭和61年12月11日	7	0	0	
	雲南農業大学	有	平成元年5月11日	28	2	2	
	湖南農業大学	有	平成元年6月2日	10	2	1	
	中南大学		平成5年6月15日	3	2	0	
	中国医科大学	有	平成5年9月13日	6	1	3	
	湖南大学	有	平成7年8月23日	0	1	0	
	中国海洋大学		平成8年3月20日	0	0	1	
	南京工業大学	有	平成11年9月14日	3	1	0	
	東北師範大学	有	平成13年11月13日	8	0	0	
	中国人民大		平成14年7月1日	1	3	0	
	中国科学院昆明植物研究所		平成16年4月6日	0	0	1	
	韓国	釜慶大学校	有	平成7年7月6日	0	1	0
		全北大学校	有	平成9年4月22日	13	3	0
群山大学校		有	平成9年12月1日	0	0	0	
済州大学校		有	平成10年1月30日	12	0	0	
群山看護大学		有	平成12年8月30日	0	1	0	
圓光大学校		有	平成12年12月12日	0	0	0	
江陵大学校		有	平成13年2月8日	6	0	0	
江原大学校	有	平成14年4月5日	1	2	0		
インドネシア	アンダラス大学	有	平成15年12月1日	1	6	1	
タイ	メジョ-大学	有	平成13年4月30日	1	20	0	
ベトナム	ハノイ農業大学	有	平成14年3月6日	2	10	0	
	ハノイ貿易大学	有	平成14年12月25日	1	8	0	
南太平洋12カ国・地域	南太平洋大学	有	昭和57年7月21日	1	3	0	
バブアニューギニア	バブアニューギニア大学	有	昭和62年5月29日	2	0	0	
オーストラリア	ニューイングランド大学	有	平成7年7月20日	3	2	1	
	シドニー工科大学	有	平成12年3月1日	3	3	1	
	西オーストラリア大学		平成15年6月17日	0	4	1	
	西オーストラリア地質研究所		平成15年6月17日	0	4	1	
アメリカ合衆国	ジョージア大学	有	昭和54年11月29日	2	7	1	
	マイアミ大学		平成4年11月30日	0	6	0	
コロンビア	バジェ州立大学	有	平成7年8月30日	1	1	0	
スペイン	バレンシア工芸大学	有	平成12年2月7日	1	3	0	

【部局間学術交流協定校 9カ国・16機関】 (平成15年度実績)

国・地域	締結機関名	学生交流覚書の有無	締結年月日	受入数	派遣数	共同研究
法学部						
ドイツ	ミュンヘン大学東アジア研究部日本センター	有	平成15年10月29日	0	4	0
歯学部						
タイ	王立プリンスオブソクラ-大学歯学部		平成15年3月14日	1	0	0
工学部						
中国	南開大学情報技術科学学院		平成11年12月14日	0	0	0
	江南大学化学及材料工程学院		平成13年7月12日	1	1	0
	東北大学機械工程及自動化学部		平成14年11月7日	1	1	0
インド	マニパール工業大学	有	平成12年10月6日	0	1	0
タイ	チェラコン大学石油及び石油化学研究科	有	平成12年7月28日	1	2	0
イラン	イラン理工科大学		平成15年3月16日	0	0	1
農学部						
インドネシア	ディボネゴロ大学農畜産学部	有	平成12年3月2日	3	0	0
タイ	国立モンクット王トンプリ工科大学生物資源工学研究科	有	平成14年1月16日	4	0	0
タンザニア	ソコイネ農科大学	有	平成11年8月30日	6	1	0
水産学部						
中国	大連水産学院	有	平成15年10月21日	0	0	0
韓国	韓国海洋研究所		平成13年9月28日	8	1	1
インドネシア	ボゴール農科大学		昭和57年12月24日	3	0	1
フィリピン	フィリピン大学ヴィサヤ校		平成10年2月26日	23	15	2
タイ	東南アジア漁業開発センター		平成15年12月3日	0	0	0

(平成15年度)

区分	研究者数
外国人教師	4
外国人研究員制度による研究員	2
外国人教員	20
国際協力機構(国際協力事業団)による研修員	20
日本学術振興会による研究員	39
外国政府等支弁による研究員	17
その他の外国人研究員	102
視察・見学	71
計	275

(平成15年度)

区分	受託研究員	内地研究員	計
教育学部		1	1
医学部	2		2
工学部		1	1
計	2	2	4

これまでの全学合同研究プロジェクト

全学合同研究プロジェクト一覧

実施年度	研究プロジェクト名称等	プロジェクト代表者
平成9～15年度	大地・食・人間の健康を保全する環境革命への試行 - 鹿児島県をケーススタディとして -	堀口 毅 (H.9～11) 西中川 駿 (H.12) 高田 正治 (H.13～14) 下川 悦郎 (H.15)
平成10～15年度	新しい関係性を求めて - コミュニケーションの諸相 -	石田 忠彦
平成11～13年度	開放系 / 半開放系のごみ処理と地域資源循環型社会の構築に関する研究	堀田 満 (H.11～12) 藤田 晋介 (H.13)
平成12～14年度	地域学の創造 - 新しい鹿児島学 -	辰村 吉康 (H.12) 石田 忠彦 (H.13) 高津 孝 (H.14)
平成12～14年度	離島の豊かな発展のための学際的研究 - 離島学の構築 -	佐伯 武頼 (H.12) 永田 行博 (H.13～14)
平成13～14年度	海の砂漠化 = 「磯焼け」発生機構の解明	野呂 忠彦
平成13～15年度	鹿児島大学牛海綿状脳症(BSE)対策プロジェクト	坂本 紘
平成14～15年度	地域資源循環型社会に向けた屋久島エコタウン&鹿児島大学エコキャンパス構想	藤田 晋介

学部名	刊行物名	発行回数
法文学部	鹿児島大学法文学部紀要(法学論集、経済学論集、人文学科論集)	年2回
	鹿児島大学法文学部国語国文学会誌(国語国文薩摩路)	年1回
	鹿大史学会誌(鹿大史学)	年1回
	鹿児島大学英文学会誌(鹿大英文学)	年1回
教育学部	鹿児島大学教育学部研究紀要(人文・社会科学編、自然科学編、教育科学編)	年1回
	鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要	年1回
	鹿児島大学教育学部附属小学校研究紀要	年1回
	鹿児島大学教育学部附属中学校研究紀要	年1回
	鹿児島大学教育学部附属養護学校研究紀要	隔年1回
理学部	鹿児島大学理学部紀要	年1回
医学部	鹿児島大学医学雑誌	年4回
	鹿児島大学医学部保健学科紀要	年2回
歯学部	鹿児島大学歯学部紀要	年1回
工学部	鹿児島大学工学部研究報告	年1回
農学部	鹿児島大学農学部学術報告	年1回
	Memoirs of the Faculty of Agriculture Kagoshima University	年1回
	鹿児島大学農学部農場研究報告	年1回
	鹿児島大学農学部農場技術調査報告書	年1回
	鹿児島大学農学部演習林研究報告	年1回
水産学部	鹿児島大学水産学部紀要	年1回
	Mini Review and Data File of Fisheries Research	隔年1回
多島圏研究センター	南太平洋研究	年2回
	南太平洋海域調査研究報告	不定期
総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館モノグラフ	年1~2回
生涯学習教育研究センター	年報	年1回

(平成16年度)

講座名 (実施部局)	開設期間 開設時間帯	時間数 (時間)	講習料 (円)	受講対象者	募集人員 (人)	開催場所
現代社会の心 (法文学部)	6/12~7/17 13:30~16:30	19	8,200	市民一般	60	法文学部
これからの日本と鹿児島を考える (法文学部)	8/28~9/25 14:00~17:00	15	7,200	市民一般	60	法文学部
学校カウンセリング基礎セミナー (教育学部)	8/24~8/26 9:00~16:20	18	8,200	教育関係者	60	教育学部
学校教育と子ども理解 (教育学部)	8/4~8/10 9:30~11:30	10	6,200	学校教育関係者、及び 園児・小中学生の保護者	30	松元町中央公民館
コンピュータと教育 (教育学部)	8/11~8/12 9:00~16:20	12	7,200	教育関係者	25	教育学部
鹿児島の美を巡る (教育学部)	10/9~10/10 10:00~16:00	10	6,200	市民一般	30	教育学部、鹿児島市立美術館、 長島美術館、霧島アートの森
中高年からの健康・生きがい作り 寝たきりにならないために、働かないために (教育学部)	9/1~10/30 10:00~12:00	8	6,200	健康な中高年、市民一般	40	教育学部
小・中学生の楽しいものづくり教室 (教育学部)	8/21~8/22 9:30~16:00	10	0	小学校5・6年生、中学生	50	教育学部
物理のためのコンピュータグラフィックス・プログラミング入門 (理学部)	8/9~8/11 10:00~16:00	15	7,200	高校の物理教育あるいは 中学の理科教員	15	理学部
Active Aging リハビリテーションからケアまで (医学部)	8/8 9:00~16:30	6	6,200	医師、看護師、保健師、理学・作 業療法士、ヘルパー、市民一般	90	霧島リハビリテーション センター
Active Aging リハビリテーションからケアまで (医学部)	鹿児島市 9/5 9:00~16:30	6	6,200	医師、看護師、保健師、理学・作 業療法士、ヘルパー、市民一般	100	医学部鶴陵会館
生涯スポーツ講座 スコティッシュ・カントリー・ダンス (医学部)	10/9~10/30 10:00~16:00	10	6,200	市民一般	20	医学部保健学科
高齢者の介護 (医学部)	8/28 13:00~18:00	5	5,200	医療従事者、福祉関係者	40	医学部保健学科
Active Aging リハビリテーションからケアまで (医学部)	宮崎市 10/17 9:00~16:30	6	6,200	医師、看護師、保健師、理学・作 業療法士、ヘルパー、市民一般	80	宮崎看護等研修 センター
Active Aging リハビリテーションからケアまで (医学部)	那覇市 11/7 9:00~16:30	6	6,200	医師、看護師、保健師、理学・作 業療法士、ヘルパー、市民一般	100	那覇市共済組合自治会館
ス टीम造設者のQOL向上への援助 (医学部)	7/31 9:30~17:00	6.5	6,200	保健師、助産師、 看護師、准看護師	50	医学部保健学科
ALS患者の在宅療養支援 (医学部)	7/17 9:30~17:00	6.5	6,200	訪問看護師	45	医学部保健学科
理学療法士・作業療法士のための統計処理 (医学部)	6/19~7/3 13:30~16:30	6	6,200	理学療法士、作業療法士	20	医学部保健学科
感染症としての口腔病変 (歯学部)	2/20 13:00~17:00	4	5,200	歯科医師、歯科衛生士、歯 科技工士、歯科医療関係者	30	鹿屋市民会館
古典から日本のくらしを読む (工学部)	7/24~7/31 13:00~17:00	8	0	市民一般	50	工学部
消費者のための農業・農村 (農学部)	12/4~12/19 9:00~16:00	12	7,200	消費者、農業生産者、 自治体および農業団体職員	30	農学部
初心者のための体験ダイビング講座 海洋生物学入門 (水産学部)	8/21~8/28 9:00~16:00	14	0	市民一般	5	水産学部附属海洋資源環境 教育研究センター、桜島大正 溶岩沿岸
鹿児島湾の海洋環境に関する実地研修 (水産学部)	8月中の3日間 9:00~17:00	24	0	鹿児島県内中・高等学校の 理科担当教員および市町 村環境部局担当者	10~ 15	水産学部練習船 南星丸
情報セキュリティー入門 (学術情報基盤センター)	8/12~8/13 10:00~16:00	10	6,200	情報システム管理者	35	学術情報基盤センター
身の回りにある放射線を目と音で捉える学習 (アイソトープ総合センター)	8/7 13:30~16:30	3	0	小学校高学年から中学生 (保護者を含む)	20	アイソトープ総合 センター
夏休み 親子科学教室 (生涯学習教育研究センター)	8/25~8/28 10:00~11:30	6	6,200	小中学生とその保護者	20組	生涯学習教育研究 センター
かごしまの環境を考える連続講座 持続可能な地域社会を創るために (生涯学習教育研究センター)	9/8~9/18・10/2 14:00~17:00	9	6,200	市民一般	40	生涯学習教育研究 センター
環境保全型農業と地域づくり 溝辺町を中心にして (生涯学習教育研究センター)	11/27~11/28 10:00~16:00	10	6,200	地域のリーダーおよび 市民一般	40	溝辺町中央公民館
環境保全型農業と地域づくり 屋久町を中心にして (生涯学習教育研究センター)	11/13~11/14 10:00~16:00	10	6,200	市民一般	50	屋久町自然博物館
冬休み 親子科学教室 (生涯学習教育研究センター)	1/7~1/8 10:00~11:30	3	5,200	小中学生とその保護者	20組	生涯学習教育研究 センター
計		288			1270	

歳入歳出決算

歳入 (単位：千円)

会計名	科目	収納済歳入額
国立学校特別会計	附属病院収入	13,693,410
	授業料及び入学検定料	5,879,799
	学校財産処分収入	500
	雑収入	1,983,612
合 計		21,557,321

歳出 (単位：千円)

区分	総額	国立学校	大学附属病院	産学連携等研究費	施設設備費	改革推進公共投資施設設備費	文部科学本省
国立学校特別会計	36,704,516	20,056,621	13,575,113	681,012	1,423,500	968,270	
一般会計	525,726						525,726
合 計	37,230,242	20,056,621	13,575,113	681,012	1,423,500	968,270	525,726

受託研究費受入状況 (単位：千円)

学部名	平成11年度		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度	
	件数	金額								
事務局									1	79,500
地域共同研究センター			1	500					1	1,500
法文学部							1	1,492	3	4,662
教育学部	1	943	3	5,793	2	4,443	1	943	2	963
理学部	2	7,598	4	43,628	4	7,512	4	11,766	3	3,718
医学部	48	136,669	44	107,056	39	102,335	39	118,679	3	10,269
歯学部	7	7,833	9	12,258	7	7,033	7	21,601		
医学部・歯学部附属病院									5	3,798
大学院医歯学総合研究科									44	54,637
工学部	10	45,413	12	42,805	15	36,660	20	84,811	21	236,528
農学部	12	28,253	16	26,133	11	14,300	15	71,056	13	18,008
水産学部	10	11,309	7	12,900	7	9,520	14	17,247	10	11,743
計	90	238,018	96	251,073	85	181,803	101	327,595	106	425,326

各種学術研究費

各種学術研究費 科学研究費補助金採択状況 (単位：千円)

学部名	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	件数	金額								
学内共同教育研究施設等	2	2,400	4	3,800	5	8,700	5	7,900	8	44,800
法文学部	14	12,100	18	24,500	18	29,400	21	40,000	23	39,000
教育学部	11	29,700	17	29,800	17	22,500	15	19,700	11	10,300
理学部	21	47,400	21	40,600	22	41,400	26	57,200	24	52,700
医学部	73	190,700	87	202,600	95	231,600	85	241,200	14	22,500
歯学部	51	122,000	57	94,300	55	133,900	49	89,900		
大学院医歯学総合研究科									105	279,500
医学部・歯学部総合病院									37	48,800
工学部	40	124,900	38	90,600	44	93,000	44	111,000	44	84,900
農学部	33	48,900	28	70,300	28	80,800	30	47,700	39	86,800
水産学部	8	12,800	7	10,400	8	15,500	8	9,200	11	28,000
合 計	253	590,900	277	566,900	292	656,800	283	623,800	316	697,300

(注) 各年度の件数及び金額は、申請時所属部局での内定通知によるものである。

科学技術振興調整費 (単位：千円)

学部名	平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
理学部	3	46,036	3	26,898	2	17,893	1	15,556
医学部	2	14,743	1	5,867	1	7,211	1	4,498
工学部	2	21,764	1	8,440	1	7,483		
農学部	1	203,448	1	162,177	1	207,887		
計	8	285,991	6	203,382	5	240,474	2	20,054

奨学寄付金受入状況 (単位：千円)

学部名	平成11年度		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度	
	件数	金額								
学内共同利用施設等	7	2,997	7	4,008	6	7,825	26	14,479	17	2,614
法文学部	6	8,180	4	2,240	4	1,422	6	3,960	7	10,660
教育学部	13	4,720	17	16,760	28	22,392	14	12,510	11	10,660
理学部	13	9,680	9	12,940	13	12,376	11	12,591	13	12,730
医学部	827	649,979	868	686,413	877	710,794	865	686,624	788	684,864
歯学部	53	33,676	31	19,504	49	27,776	33	15,873	42	24,099
医学部・歯学部附属病院									98	88,806
大学院医歯学総合研究科									1	20,000
工学部	108	57,458	96	69,047	93	80,417	109	76,324	98	83,782
農学部	66	51,106	58	54,159	57	48,263	72	59,180	74	81,376
附属農場	3	940	3	5,500	2	940				
水産学部	17	11,212	9	7,356	25	17,522	32	18,878	24	14,701
合 計	1,113	829,948	1,102	877,927	1,154	929,727	1,168	900,419	1,173	1,034,292

民間等との共同研究受入状況 (単位：千円)

学部名	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
地域共同研究センター	20	15,750	22	10,200	24	8,150	8	1,700
法文学部							1	1,883
教育学部	1	420	1	200	1	500		
理学部	3	1,760	4	1,920	3	1,340	3	1,340
医学部	6	5,364	5	4,020	5	4,500	1	525
歯学部	1	300			2			
医学部・歯学部附属病院								
大学院医歯学総合研究科							11	7,900
工学部	20	57,765	21	30,480	27	42,920	40	52,278
農学部	4	3,590	4	3,370	18	14,010	25	16,814
水産学部	2	4,420	2	4,420	3	2,500	5	6,290
合 計	57	89,369	59	54,610	83	73,920	94	88,730



医学部・歯学部附属病院患者数

医学部附属病院(平成15年4月から9月)

診療科名	患者数		病床数	診療科名	患者数		病床数
	入院	外来			入院	外来	
第一内科	9,020	10,393	50	泌尿器科	4,477	4,376	29
第二内科	9,766	9,088	55	眼科	5,054	11,588	29
第三内科	7,114	7,930	42	耳鼻咽喉科	5,862	7,168	34
リハビリテーション科	8,677	5,028	50	放射線科	3,999	3,285	23
神経精神科	6,765	6,186	45	産婦人科	9,043	7,269	48
小児科	6,927	6,454	40	麻酔科蘇生科	526	1,698	3
第一外科	8,793	4,171	51	小児外科	1,905	2,175	9
第二外科	9,063	4,004	52	心身医療科	954	4,666	5
脳神経外科	4,017	2,642	20	共用	(2,777)		43
整形外科	9,030	7,784	50	放射線治療室	(57)		3
皮膚科	4,693	6,554	29	計	115,685	112,459	710

(注)は再掲
共用内訳(結核28床、感染7床、特別室8床)
病床数は予算病床

歯学部附属病院(平成15年4月から9月)

診療科名	患者数		病床数	診療科名	患者数		病床数	
	入院	外来			入院	外来		
予防歯科	0	4,076	共通	矯正科	0	4,435	共通	
保存科	0	5,691		小児歯科	29	4,582		
歯周病治療科	0	8,331		歯科放射線科	0	2,061		
第一補綴科	0	5,557		歯科麻酔科	0	853		
第二補綴科	0	5,780		特殊歯科総合治療部	0	440		
第一口腔外科	2,866	4,271		一般歯科総合診療部	0	1,996		
第二口腔外科	3,271	4,947		計	6,166	53,020		40

医学部・歯学部附属病院(平成15年10月から平成16年3月)

診療科名	患者数		病床数	診療科名	患者数		病床数	
	入院	外来			入院	外来		
内科	25,266	27,708	147	放射線科	3,876	3,757	23	
神経科精神科	6,278	6,449	45	産婦人科	8,285	6,805	48	
小児科	6,639	6,192	40	麻酔科	556	1,572	3	
医科部門	18,236	7,733	103	小児外科	1,722	1,901	9	
脳神経外科	3,679	2,419	20	心身医療科	942	4,754	5	
整形外科・リウマチ科	8,882	7,470	50	リハビリテーション科	8,650	5,134	50	
皮膚科	4,691	6,080	29	共用	(3,905)		43	
泌尿器科	4,174	3,850	29	放射線治療室	(65)		3	
眼科	4,730	11,103	29	計	112,226	109,999	710	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	5,620	7,072	34					
口腔保健科	0	3,972	共通	矯正歯科	0	4,949	共通	
保存科	0	5,530		小児歯科	14	4,619		
歯周病科	0	8,552		顎顔面放射線科	0	1,941		
冠・ブリッジ科	0	5,440		歯科麻酔科	0	965		
義歯補綴科	0	6,130		特殊歯科総合治療部	0	471		
口腔外科	2,477	4,279		歯科総合診療部	0	2,011		
口腔顎顔面外科	3,324	4,867		計	5,815	53,726		40

(注)は再掲
共用内訳(結核28床、感染7床、特別室8床)
病床数は予算病床
内科...心臓血管内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、血液・膠原病内科、糖尿病・内分泌内科
外科...心臓血管外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科
産婦人科...産科、婦人科



土地・建物・船舶

(平成16年5月1日現在)

区	分	土地(g)	建物(延面積g)			備考(単位:g)	
			木造	非木造	計		
郡元地区	事務局	233,630(22)	33	10,339	10,372		
	保健管理センター		0	561	561		
	附属図書館		0	12,697	12,697		
	法文学部		0	6,930	6,930		
	理学部		0	13,871	13,871		
	工学部		0	40,473	40,473		
	農学部		210	31,934	32,144		
	共通教育		0	17,616	17,616		
	その他		0	10,915	10,915		
	教育学部		118,265	690	40,304		40,994
	小計		351,895(22)	933	185,640		186,573
桜ヶ丘地区	医学部	218,726(4)		21,998	21,998	看護師宿舎 (土地4,431 建物4,128)	
	歯学部			3,115	3,115		
	医歯学総合研究科			33,261	33,261		
	医学部・歯学部附属病院			58,758	58,758		
	附属図書館			1,978	1,978		
	生命科学資源開発研究センター			4,381	4,381		
	亀ヶ原グラウンド			52	52		
桜ヶ丘寄居舎		3,122	3,122				
小計	218,726(4)	0	126,665	126,665			
下荒田地区	水産学部地区	49,153	93	12,046	12,139	備外人宿舎 (土地438 建物223) 宿舎 (土地3,455 建物1,891)	
	国際交流会館(1号館)		0	1,430	1,430		
	国際交流会館(2号館)		0	1,259	1,259		
	外国人研究者宿泊施設		0	502	502		
小計	49,153	93	15,237	15,330			
その他	唐湊寄居舎	24,696	0	5,694	5,694	宿舎(土地2,714 建物818) 宿舎(土地220 建物69) 宿舎(土地1,780 建物130) その他宿舎 (土地15,871 建物8,350)	
	唐湊果樹園	72,682	0	1,015	1,015		
	唐湊林園	9,957	19	0	19		
	寺山自然教育研究施設	301,248	0	831	831		
	教育学部附属養護学校	16,776	509	3,058	3,567		
	桜島火山観測点	297	0	31	31		
	霧島リハビリテーションセンター	15,425(123)	6	4,507	4,513		
	高隈演習林	30,619,586	88	1,535	1,623		
	佐多演習林	2,992,325	0	166	166		
	入来牧場	1,478,451(25)	0	3,497	3,497		
	垂水実験地	4,622	68	0	68		
	桜島溶岩実験場	372,713	0	0	0		
	指宿植物試験場	39,127	313	2,246	2,559		
	東町ステーション	16,902	0	1,183	1,183		
	鴨池臨海地	4,990(94)	0	1,642	1,642		
	職員会館及び外国人宿泊施設	955	0	537	537		
	磯艇庫	407(202)	0	243	243		
谷山ふ頭	0(781)	0	0	0			
平川艇庫	0(595)	0	208	208			
甌島観測点	0(49)	0	24	24			
伊集院観測点	0(7)	0	0	0			
屋久島観測点	0(109)	0	40	40			
串間観測点	0(58)	0	58	58			
紫尾観測点	0(58)	0	58	58			
黒島観測点	0(58)	0	58	58			
佐多観測点	0(58)	0	11	11			
高岡観測点	0(105)	0	40	40			
吉松観測点	0(47)	0	0	0			
田代観測点	0(6)	0	0	0			
その他	0	0	598	598			
小計	35,971,159(2,375)	1,003	27,280	28,283			
合計		36,590,933(2,401)	2,029	354,822	356,851	宿舎土地28,909 建物15,609	

(注)1.土地欄()内数量は借用地
2.各地区土地及び建物数量には備考欄宿舎の数量は含まない。

地区別建物等配置図

郡元キャンパス

- 法文学部
- 教育学部
- 理学部
- 工学部
- 農学部
- 大学院司法政策研究科
- 大学院連合農学研究科



- 1 事務局
- 2 保健管理センター
- 3 事務局車庫、電話交換室、埋蔵文化財調査室
- 4 農学部1号館(管理室・生物生産学科・生物資源化学科・生物環境学科実験研究室)
- 5 農学部2号館(獣医学科実験研究室)
- 6 農学部附属家畜病院
- 7 農学部3号館(生物資源化学科・生物環境学科実験研究室)
- 8 農学部4号館(生物生産学科・生物環境学科実験室・農業経営経済学研究室)
- 9 農学部5号館(生物生産学科・生物環境学科実験研究室)
- 10 農学部6号館(生物生産学科実験研究室・農業経営経済学研究室)
- 11 農学部7号館(獣医学科)
- 12 生命科学資源開発研究センター・アイソトープ総合センター
- 13 RI実験室
- 14 農学部温室
- 15 " 植物研究実験施設
- 16 " 網室・硝子室
- 17 " 附属農場動物飼育棟
- 18 " 附属農場研究実験棟
- 19 " 低温貯蔵実験室
- 20 " 水理実験室
- 21 " 昆虫飼育棟
- 22 中央変電所
- 23 ボイラー室・廃液処理施設
- 24 中央食堂
- 25 工学部中央実験工場
- 26 " 機械工学科第三実験棟
- 27 " 機械工学科2号棟
- 28 " 建築学科棟

- 29 工学部電気電子工学科棟
- 30 " 機械工学科第一実験棟
- 31 " 機械工学科1号棟
- 32 " 応用化学工学科1号棟
- 33 " 機械工学科第二実験棟
- 34 " 応用化学工学科2号棟
- 35 " 海洋波動実験棟
- 36 " 薬品庫
- 37 " 海洋土木工学科棟
- 38 " 情報工学科棟
- 39 " 講義研究棟
- 40 地域共同研究センター・知的財産本部
- 41 VBL(ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー)
- 42 工学部管理棟
- 43 稲盛会館
- 44 倉庫
- 45 総合研究博物館
- 46 理学部1号館(管理室・物理科学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室)・理系先端研究棟
- 47 理学部2号館(数情報科学科・生命化学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室)
- 48 理学部3号館(生命化学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室)
- 49 理工系総合研究棟(機器分析センター)

- 50 学術情報基盤センター
- 51 大学会館(1・2・4号館)
- 52 " 大集会室(3号館)
- 53 共通教育棟1号館(管理室・講義室・教育センター)
- 54 " 2号館(文科研究室)
- 55 " 3号館(理科研究室)留学生センター
- 56 " 4号館(理科研究室)
- 57 中央図書館
- 58 法文学部管理棟・研究棟・講義棟
- 59 " 研究棟・講義棟
- 60 " 講義棟
- 61 課外活動共用施設
- 62 第一体育館
- 63 第二体育館
- 64 教育学部武道場
- 65 " 体育科実験研究棟
- 66 " 管理棟・理系研究棟
- 67 " 第一講義棟

- 68 教育学部実習棟
- 69 " 第二講義棟・生涯学習教育研究センター
- 70 " 文系研究棟
- 71 " 音楽美術科棟
- 72 " 附属教育実践総合センター
- 73 屋内プール50m
- 74 教育学部附属幼稚園
- 75 " 附属中学校
- 76 " 附属中学校体育館
- 77 " 附属小学校
- 78 " 附属小学校体育館
- 79 " 附属小学校昆虫飼育室
- 80 " 倉庫
- 81 弓道場
- 82 課外活動共用施設

- 83 総合研究博物館(常設展示室)
- 84 大学院連合農学研究科棟
- 85 馬術部馬房
- 86 郡元南食堂
- 87 総合教育研究棟(多島園研究センター)

地区別建物等配置図

桜ヶ丘キャンパス

医学部
歯学部
大学院医歯学総合研究科
医学部・歯学部附属病院



- | | | |
|--------------------------------|-----------------------|-------------------|
| ① 医学部臨床講義棟 | ⑩ 医学部・歯学部附属病院医科病棟 | ⑳ 医歯学総合研究科棟1(歯学系) |
| ② 医歯学総合研究科棟3(臨床医学系) | ⑪ " 附属病院医科診療棟 | ㉑ 歯学部講義実習棟 |
| ③ " 4(新臨床医学系) | ⑫ " 附属病院結核感染症棟 | ㉒ 桜ヶ丘体育館 |
| ④ 医歯学総合研究科棟2(基礎医学系) | ⑬ " 附属病院管理棟 | ㉓ 運動器具庫 |
| ⑤ RI実験施設 | ⑭ 医学部基礎講義実習棟・共同利用研究棟 | ㉔ 医学部保健学科研究棟 |
| ⑥ 生命科学資源開発研究センター
(実験動物研究分野) | ⑮ 中央機械室 | ㉕ 共通教育棟 |
| ⑦ 福利厚生施設(桜ヶ丘会館) | ⑯ ポンプ室 | ㉖ MRI-CT装置棟 |
| ⑧ 学生宿舎 | ⑰ 附属図書館桜ヶ丘分館 | ㉗ 医療情報施設 |
| ⑨ 医学部・歯学部附属病院看護師宿舎 | ⑱ 体育器具庫 | ㉘ 鶴陵会館 |
| | ㉙ 廃液処理施設 | ㉚ 医・歯学部課外活動施設 |
| | ㉚ 医学部・歯学部附属病院歯科診療棟・病棟 | ㉛ 弓道場 |

下荒田キャンパス

水産学部



- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ① 管理・研究棟 | ⑫ 車庫 |
| ② 資源利用科学棟 | ⑬ 附属海洋資源環境教育研究センター実験室 |
| ③ 管理・研究棟(4F講義室) | ⑭ 資源育成科学棟 |
| ④ 変電室・電話交換室 | ⑮ 附属図書館水産学部分館 |
| ⑤ サークル棟 | ⑯ 講義棟 |
| ⑥ 資源利用科学実習棟 | ⑰ 倉庫 |
| ⑦ 食堂・売店(1F) | ⑱ 外国人研究者宿泊施設 |
| ⑧ 附属海洋資源環境教育研究センター(2F) | |
| ⑨ 国際交流会館(1号館) | |
| ⑩ " (2号館) | |
| ⑪ 回流水槽実験棟 | |
| ⑫ 職員宿舎 | |

学生寮 唐湊3丁目

- | |
|-----------|
| ① 男子寄宿舍A棟 |
| ② " B棟 |
| ③ " 5号寮 |
| ④ 女子寄宿舍 |
| ⑤ 共用棟 |



鹿児島大学・附属施設位置図



鹿児島市内交通アクセス

鹿児島空港から...鹿児島空港リムジンバスで天文館まで約45分、鹿児島中央駅まで約55分

郡元キャンパス
(鹿児島中央駅経由)
市電/郡元行 工学部前まで15分
市バス/「9・11・11-2・20番線(鴨池港行)」 農学部前まで約8分
市バス/「9・11・11-2・20番線(鴨池港行)」 法文学部前まで約9分

桜ヶ丘キャンパス
(鹿児島中央駅経由)
市バス/「18番線(大学病院経由桜ヶ丘行)」 大学病院前まで約25分
市バス/「 」 歯学部病院前まで約27分

鹿児島交通バス/「14番線(大学病院行)」 大学病院前下車

下荒田キャンパス
(鹿児島中央駅経由)
市バス/「11・11-2番線(鴨池港行)」 体育館前まで約8分
「18番線(大学病院経由桜ヶ丘行)」 体育館前まで約8分
市バス/「12・31・32番線(三和町行)」 水産学部前下車

所在地一覧

【事務局】	〒890-8580鹿児島市郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【法文学部】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番30号	☎099(285)7111(代表)
【教育学部】	〒890-0065 " 郡元一丁目20番6号	☎099(285)7111(代表) 時間外099(285)7729
附属小学校	〒890-0065 " 郡元一丁目20番15号	☎099(285)7962
附属中学校	〒890-0065 " 郡元一丁目20番35号	☎099(285)7932
附属養護学校	〒890-0005 " 下伊敷一丁目10番1号	☎099(224)6257・0206
附属幼稚園	〒890-0065 " 郡元一丁目20番15号	☎099(285)7990
附属教育実践総合センター	〒890-0065 " 郡元一丁目20番6号	☎099(285)7111(代表)
【理学部】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番35号	☎099(285)7111(代表)
附属南西島孤地火山観測所	〒892-0871 " 吉野町10861	☎099(244)7411
【医学部】	〒890-8544 " 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)5111(代表・時間外)
【歯学部】	〒890-8544 " 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)5111(代表・時間外)
【医学部・歯学部附属病院】	〒890-8520 " 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)5111(代表・時間外)
霧島リハビリテーションセンター	〒899-6603給良郡牧園町高千穂3930-7	☎099(78)2457・2538(代表・時間外)
【工学部】	〒890-0065鹿児島市郡元一丁目21番40号	☎099(285)7111(代表)
【農学部】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
附属農場	〒890-0065 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7771
唐湊果樹園	〒890-0081 " 唐湊三丁目32番1号	☎099(254)1042
指宿植物試験場	〒891-0402指宿市十町1291番地	☎099(22)2848
入来牧場	〒895-1402薩摩郡入来町浦之名字大谷4018-3	☎099(44)2204
附属演習林	〒890-0065鹿児島市郡元一丁目21番24号	☎099(285)7744
高隈演習林	〒891-2101垂水市海灣3237番地	☎099(32)6329
佐多演習林	〒893-2604肝属郡佐多町馬籠349	
附属家畜病院	〒890-0065鹿児島市郡元一丁目21番24号	☎099(285)7750
【水産学部】	〒890-0056 " 下荒田四丁目50番20号	☎099(286)4111(代表)
附属海洋資源環境教育研究センター	〒890-0056 " 下荒田四丁目50番20号	☎099(286)4296
附属海洋資源環境教育研究センター東町ステーション	〒899-1403出水郡東町諸浦字蛤湯1620-3	☎099(64)5013
【大学院医歯学総合研究科】	〒890-8544鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)5111(代表)
附属難治ウイルス病態制御研究センター	〒890-8544 " 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)5111(代表)
【大学院連合農学研究科】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【附属図書館】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番35号	☎099(285)7415
桜ヶ丘分館	〒890-0075 " 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)5201
水産学部分館	〒890-0056 " 下荒田四丁目50番20号	☎099(286)4051
【保健管理センター】	〒890-8580 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7385
【地域共同研究センター】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7491
【多島園研究センター】	〒890-8580 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7394
【アイソトープ総合センター】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【留学生センター】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番35号	☎099(285)7601
【総合研究博物館】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番30号	☎099(285)7141
【機器分析センター】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7188
【生命科学資源開発研究センター】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7581
【学術情報基盤センター】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番35号	☎099(285)7474
【生涯学習教育研究センター】	〒890-0065 " 郡元一丁目20番6号	☎099(285)7294
【教育センター】	〒890-8580 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【知的財産本部】	〒890-8580 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【埋蔵文化財調査室】	〒890-8580 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7111(代表)
【地域貢献推進室】	〒890-8580 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【稲盛会館】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7111(代表)
【大会会館】	〒890-8580 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7324
【学生寮】	〒890-0081 " 唐湊三丁目3番1号	☎099(251)238・099(254)098
【国際交流会館(1号館・2号館)】	〒890-0056 " 下荒田四丁目50番20号	☎099(252)6446
【職員会館(天心荘)】	〒890-0082 " 紫原三丁目20番19号	☎099(252)0577
【外国人研究員宿泊施設】	〒890-0082 " 紫原三丁目20番19号	





郡元キャンパス



桜ヶ丘キャンパス



下荒田キャンパス

学 年 暦			
学 年	前 期		4月1日～9月30日
	後 期		10月1日～3月31日
入 学 式			4月5日
休 業	春 季 休 業		4月1日～4月10日
	夏 季 休 業		8月1日～9月30日
	冬 季 休 業		12月25日～1月8日
	鹿児島大学記念日		11月15日
卒 業 式			3月25日

編集・発行 鹿児島大学総務部総務課
〒890 8580 鹿児島市郡元一丁目21番24号
代表電話 099(285)7111
FAX 099(285)7034
URL <http://www.kagoshima-u.ac.jp/>
発行日 平成16年7月